

トルコが日本のギョレン師の学校閉鎖を要求

(スプートニク 2016年08月18日 11:19)

© REUTERS/ Courtesy Selahattin Sevi/Zaman Daily via Cihan News Agency <http://goo.gl/fUAEmo>

トルコのチャヴシュオール外務大臣は、共同通信との会見中に、ギョレン師支持派が7月15日に起こした軍事クーデター未遂についてコメントした。チャヴシュオール外務大臣は、ギョレン師の関係団体が日本で活動していると指摘した。

チャヴシュオール外務大臣は次のように述べた。

「彼らの（日本で活動しているギョレン師の関係団体の）数は15個だ。我々は、この団体の活動が停止されることを待ち望んでいる。ギョレン師支持派は、日本の安定と安全への脅威だ。」

チャヴシュオール外務大臣はトルコでのギョレン師の関係団体の活動の調査に触れ、トルコ公的機関の全ての行動は憲法の規範に適しており、西側諸国のこの問題に対する批判は根拠がないと強調した。

<http://sptnkne.ws/bWvF>

中国人専門家：核の先制不使用に反対する日本の立場は国の政策の諸原則に合致しない

(スプートニク 2016年08月18日 12:31)

◎ 写真: Public domain <http://goo.gl/7G9roP>

英国、韓国、フランスそして日本は、近くオバマ大統領が示す核兵器の先制不使用政策に反対している。新聞ワシントン・ポストが伝えた。中国黒竜江省社会学アカデミー北東アジア調査研究所のダ・ジーガン所長は「スプートニク」記者のインタビューに応じた中で、ワシントン・ポストの報道をコメントし、次のように指摘した—

「今回の安倍首相の立場は、日本が固く守っている原子力の平和利用、非核行動の支援、核兵器の廃絶、核の脅威払拭といった諸原則と一致していない。日本は、かつて原爆を投下され被害をこうむった世界で唯一の国だ。それゆえ他の国々に比べ、核兵器がもたらしうるあらゆる程度の害悪を知っているはずだ。日本にとって必要不可欠なのは、核兵器根絶を目指して戦う事ではないか。もちろん日本は現在、そうした兵器を持ってはいないが、核兵器不使用の政策をまず何よりも堅持すべきではないのか。」

<http://sptnkne.ws/bWvT>

米国がイランに4億ドルの内密送金、WSJが内幕を暴露

(スプートニク 2016年08月18日 16:38)

© Fotolia/ Irochka <http://goo.gl/uzCmzz>

ホワイトハウスは今年1月、密かにイラン当局に4億ドルを送っていた。ウォールストリートジャーナルが複数の米政府当局者の情報として伝えた。

金銭は3人の米国市民を乗せた飛行機がテヘランから飛び去った後にはじめて送られた。それは「数人の米国人囚人の解放のために慎重に計画された交換」だった。ホワイトハウスは先に、支払われたのは米国人の解放のための身代金ではなかった、としていた。

米政府当局者は、1月17日にテヘランから米国市民3人を乗せたスイス空軍の飛行機が離陸しない間は、イラン当局が金銭を管理下に置くことを許さなかった。離陸後は同日中にイランはジュネーブ空港から現金4億ドルを取得できた。

イラン最大の航空会社イラン航空の指導者たちはテヘランからジュネーブへのフライトを組織したと説明した。ユーロとスイスフランを積んだ識票のないコンテナが貨物機で輸送された。

<http://sptnkne.ws/bWwC>

米国、アイスランドに秘密で同国領土に核兵器を配備しようとしていた

(スプートニク 2016年08月18日 19:15)

© Flickr/ GeorgeDement <http://goo.gl/90fGA7>

「米国国家安全保障アーカイブ」プロジェクトの枠内で公開された機密文書により、1950年代に米国がアイスランドに核弾頭を配備する計画だったことが明らかにされた。米科学雑誌「ポピュラーサイエンス」の報道によると、米国はアイスランドに対して兵器の配置換えについて通知する計画になかった。

公開された文書によると、アイスランドは自国領内には核兵器を配備しないという保証を米国に常に要求していたが、これに対し米務省は、そうした保証を与えればソ連に益をもたらすだけとみなしていた。

こうした一方で米国防総省は、核兵器配備計画に関して作業を続行。しかしアイスランド当局がそれを察知し、NATOからの脱退を振りかざした。こうしたアイスランドからの最後通牒が突き付けられ、米国の外交官らもようやく、アイスランドへの核兵器の秘密展開はプラスよりもマイナスが大きいことを認めた。

先に伝えられたところによると、ロシアの行動がNATOによるシリア領内への624発の巡航ミサイル発射を阻止した。

<http://sptnkne.ws/bWzM>

日本 北朝鮮のミサイル発射に関する緊急情報システムの担当職員を増員へ

(スプートニク 2016年08月18日 22:00)

◎ REUTERS/ KCNA <http://goo.gl/hlGtAQ>

日本政府は、北朝鮮のミサイル発射に関連して、国民や行政機関などに緊急情報を伝えるシステムを担当する職員を増員する方針。NHKが報じた。

NHKによると、特に「落下地点の推定などの情報を国民に知らせるJアラート＝全国瞬時警報システム」などの担当職員が増員される見込み。日本政府は今年2月7日にもJアラートで北朝鮮の弾道ミサイル発射情報を伝達した。

NHKによると、政府は「エムネット＝緊急情報ネットワークシステム」を担当する職員も増員する方針だという。日本政府は今年、8月3日を含めて北朝鮮のミサイル発射の兆候を複数回把握できなかったことを認めた。

8月3日、北朝鮮は日本海に向けて弾道ミサイルを発射。防衛省によると、ミサイルは日本の排他的経済水域に落下した。

<http://sptnkne.ws/bW3Y>

専門家、オバマ氏の核の先制不使用は平和の希求ではなくMDの正当化

(スプートニク 2016年08月18日 21:15)

◎ AP Photo/ Pablo Martinez Monsivais <http://goo.gl/UIxaEZ>

オバマ大統領の「核の先制不使用」を含む核兵器分野での政策変更についての声明と、それに続いて環太平洋地域で最も親米派の軍事同盟国である日韓が見せた激しい否定的な反応。これによってヒラリー・クリントン氏の軍事ドクトリンはさらに注目を集める結果になってしまう。スプートニクがインタビューを行った韓国専門家からはこうした見解が挙げられた。

オバマ大統領は大統領在任時に、自らのコンセプト「核なき世界」実現で目に見える結果を示すことができなかったため、MDシステム強化に重点を置き始めた。これに対して韓国・慶南大学極東研究所のキム・ドンヨプ教授は、MD強化は核軍縮には特に意義を持たないとの見解を示し、ス

プートニク韓国からのインタビューに次のように述べている。

「米国は核兵器を先制使用しないという粘り強い声明はどちらかといえば、米国指導の下に展開されているMDシステムを論理的に根拠付ける試みだ。」

核大国は、先制攻撃は道徳的に正当化されるはずがないことは理解しているのに、頻繁に「核抑止力」というコンセプトを使う。この点では、仮定の核戦争での「攻撃」兵器と「防衛」兵器の差はそう大きくない。しかし、大統領在任中に「調停者」というステータスを定着させたいと思っているオバマ大統領にとっては、自らの平和の希求を常に周囲に思い出させることは重要だ。そのため、今オバマ大統領は今年の終わりまでにターゲットを定めたルートから外れることはないだろう。

キム・ドンヨブ教授によると、オバマ大統領による米国の核先制不使用声明は「抽象的で、象徴的な意味合いが強い」という。声明は、核なき世界の希求したリーダーとして歴史に名を残したいオバマ大統領の希望のほかには「なんらの真剣な根拠を持っておらず、実践的な意味を欠いている」という。

「いずれにせよこの声明は、オバマ氏の下で積極的に行われてきた MD システム強化の方針に反する。それゆえこの声明は特別な注意を割くに値しない。なぜならもし米大統領選挙でクリントン氏が勝つと、このコンセプトの跡も残らなくなるからだ。」

<http://sptnkne.ws/bW7x>

マスコミ：米国はトルコからルーマニアへと核兵器を輸送

(スプートニク 2016年08月18日 21:46)

© Sputnik/ Hikmet Durgun <http://goo.gl/7q9E31>

トルコで起きた軍事クーデター未遂の後に悪化した米国とトルコ政府の関係を背景に、米国は核兵器をトルコからルーマニアのデベセルミサイル基地へと輸送し始めた。EU関連のニュースサイト「Euractiv」が情報筋を引き報じた。

同サイトによると、核兵器の輸送には技術的困難を伴うという。Euractiv の情報筋の1人が次のように述べている。「20以上の核弾頭を輸送するのはそう簡単ではない」。

未確認の情報によると、トルコのインジルリク空軍基地には米国の戦術核兵器が約50発配備されていると、同サイトで指摘されている。

<http://sptnkne.ws/bW8k>

ビンラディンの息子、サウジ政権打倒へ呼びかけ

(スプートニク 2016年08月18日 23:02)

© AP Photo/ Mazhar Ali Khan <http://goo.gl/ysvuqZ>

テロ組織「アルカイダ」の創設者ビンラディンの息子の1人、ハムザ氏がサウジアラビア転覆をサウジ市民に呼びかけた。ハムザ氏によると、これは「米国の影響から解放される」ことを助けるという。情報サイト「SITE」が報じた。

ハムザ氏ビデオメッセージでサウジアラビアの青年に、イエメンに拠点を置く「アラビア半島のアルカイダ」に加わり、「戦闘行為を行う必要な経験を手に入れる」ように呼びかけた。「SITE」が報じた。過激派組織「アラビア半島のアルカイダ」は09年に組織された。戦闘員はイエメンにいて、サウジアラビアでテロを起こしている。7月10日、ハムザ氏がビデオメッセージ「我われはみなオサマだ」で米国に敵討ちを誓った。

<http://sptnkne.ws/bW9h>

トルコ外相：「ロシアの参加なしにシリア紛争を完全に解決するのは不可能」

(スプートニク 2016年08月19日 00:04)

© AP Photo/ Burhan Ozbilici <http://goo.gl/m8EaS3>

トルコのチャブシオール外相が、ロシアとトルコの関係、焦眉の国際問題や地域問題について通信社「スプートニク」の独占インタビューに応じた。

スプートニク：「露土関係の正常化プロセスをどのように評価しますか？ 過去7ヶ月間で両国は協力を拒否する意向はないことを示しましたが…」

チャブシオール外相：「残念ながら、昨年11月24日にロシア機の予期せぬ悲劇的な事件が起きました。これは我々を悲しませると同時にひどく驚かせました。事件の後、我々は関係改善に向けた一連の措置を講じましたが、ロシアは当然のことながら、ロシア機破壊に関する事件に対してより感情的に反応し、我々の関係に破綻が生じました。私達はそのようなことになるのを望みませんでした。2つの友好国、2つの隣国は、全ての問題で常に同じ立場を取ることはできず、我々の関係における危機は、トルコにもロシアにも地域にも利益をもたらすことはありませんでした。結果、全ての措置、書簡、電話会談、そして最近ソチで行なわれたロシアのラヴロフ外相との会談のおかげで、関係正常化に関する我々の計画は稼動し、肯定的な成果をもたらし始めました。サンクトペテルブルグでの会談も重要な役割を演じました。いずれにせよ私は、この7-8ヶ月の間に両国は互いの価値と重要性をさらによく理解するようになったと思っています。」

スプートニク：シリアをはじめとした中東地域におけるロシアとの協力では、どのような協力メ

カニズムが作成されますか？

チャブシオール外相：「残念ながらシリアの状況は徐々に悪化しています。シリア問題を軍事的手段あるいは武力闘争によって短期間で解決するのは不可能です。さらにシリア問題を単独で解決することもできません。そのため我々は、政治的解決策を打ち出し、休戦を確保するために共同作業を行わなければなりません。残念ながら今シリアでは一般市民が命を落としています。先に休戦が発表されましたが、残念なことに繰り返し休戦の条件違反が行なわれています。我々はシリアで活動するテロ組織との大規模な戦いを行なう必要があります。もし彼らを根絶しなければ、テロの波は伝染病のように世界中に広がり続け、トルコ、ロシア、欧州、地球全体を脅かすでしょう。そのため我々は同問題でも緊密な協力を確立しなければなりません。私達は、全当事者が真に尽力を結集すれば、シリア問題を解決できると信じています。先に我々は、関係の危機が繰り返されていた時期でさえも、ロシアの参加なしにシリア紛争を完全に解決するのは不可能だと何度も述べていました。我々は今それを主張し続けています。これはイランも同じです。我々は現在イランとも話し合いを行っており、この方向で協力を強化する方針です。ペルシャ湾岸の他の国や欧州諸国のことも忘れてはなりません。我々は共通の問題に有益な貢献をしなければなりません。我々は、シリア国境の安全確保と領土保全の問題でロシアとイランが私たちを支持すると確信しています。そして我々の協力のおかげで同問題が解決されると確信しています。」

<http://sptnkne.ws/bWNy>

大型ハドロン衝突型加速器職員が「悪魔の儀式」を行う（動画）

（スポーツニク 2016年08月19日 00:59）

© AFP 2016/ RICHARD JUILLIART <http://goo.gl/6NkcvI>

スイスのジュネーブにあるCERNの研究センター従業員らによる生贄の儀式が写された謎の動画がネットに出回っている。黒いローブに身を包んだ8人の物理学者が白服の女性を殺害。あるいは、少なくともそのふりをした。CERN管理部は動画が現地で撮られたものであることを確認した。ミラーが報じた。

動画 https://youtu.be/_pqp33cVkJE

奇妙なビデオはある研究棟の窓から撮影されたもの。「悪魔のミサ」のある参加者がナイフを持った手を地面に寝ている女性の上に掲げた直後、撮影者は大声で罵り始め、恐怖に駆られて部屋中を駆け回り出した。

インターネットユーザーらが動画について議論するなか、英国のジャーナリストらは、CERNの代表にコメントを求め、撮影は間違いなくCERNの敷地で行われたものとの確認を得た。「もちろん、これは本当の悪魔のミサではない。従業員にも休息は必要であり、時に冗談が行き過ぎることもある」とのこと。

先に、すでに数人のアナリストが、強い地震は大型ハドロン衝突型加速器（LHC）作動の結果だと自信を持っていると報じられた。

<http://sptnkne.ws/bWDB>

欧州企業、制裁を迂回しクリミアと貿易

（スプートニク 2016年08月19日 05:46）

© Sputnik/ Sergey Malgavko <http://goo.gl/TSP1wW>

EU諸国の企業は制裁に反し、クリミアとの貿易を続けている。欧州旗を掲げた船はクリミア半島の港に立ち寄っている。汚職・組織犯罪研究センター（OCCRP）が報じた。センターによる調査の結果によると、この2年間でクリミアの港にはEU諸国の旗を掲げた船24隻、EUで登録されている船43隻、EUからの受益者の船22隻が訪れたという。

制裁を潜り抜けるため企業は様々なトリックを使うとOCCRPは報告している。他国の旗を使う企業や、第三者企業のサービスに駆け込む企業、ロシアの港に訪れる際、単に現在地特定システムをオフにする企業がいる。OCCRPは組織犯罪や汚職の調査報道をするマスコミや個々のレポーターの組合だ。資金の主な部分は米国際開発庁と国連民主主義基金から受け取っている。

<http://sptnkne.ws/bWN2>

日本の外国貿易 7年間で最大の減少を記録

（スプートニク 2016年08月19日 06:39）

© REUTERS/ Yuya Shino <http://goo.gl/yirxth>

日本の輸入額は19ヵ月連続で減少し、前年同月比24.7%減となった。輸出額は前年同月比14%減で、10ヵ月連続で前年同月を下回った。米国向けの輸出は11.8%、欧州向けは6.5%、日本の最大の貿易相手国である中国向けは12.7%減少した。日本の自動車、船舶、鉄鋼などの輸出が減少し、これが全体的な減少の主な要因となった。

野村証券の桑原真樹シニアエコノミストは、特に米国、台湾、韓国の産業が回復しているという事実を考慮した場合、状況はより多くの懸念を引き起こしているとの見方を示した。近い将来に改善の見込みはない。日本銀行は努力しているものの円高が続き、ドルと円の通貨ペアの為替レートは1ドル=100円の危機的水準を下回った。

メリルリンチ日本証券の大崎秀一ストラテジストはブルームバーグに、日本銀行はその政策がこれ以上効果を持たない臨界点に達した可能性があるとの見方を示した。ロイター通信によると、ト

レーダーたちは円が1ドル=100円以上で維持された場合、日本銀行が直接介入に着手する可能性もあると考えている。

<http://sptnkne.ws/bWN3>

ヴォルゴグラードと南クリル諸島青年フォーラム、現地では日本人の参加を心待ちに

(スポーツニク 2016年08月19日 08:29 リュドミラ・サーキャン)

© Sputnik/ Dmitry Astakhov <http://goo.gl/jbrf8f>

夏休みも終わりに近くなったこの時期にロシアの中でも互いに離れた地域であるヴォルゴグラードと南クリル諸島ではほぼ同時に青少年らの国際フォーラムが開催されている。その両方に日本の青年団体の代表らが参加している。ヴォルゴグラードで開催されているのは青少年国際平和未来会議。この会議が初めて開催されたのは2005年。原爆投下から60年が経過したことに合わせて広島で開催された。以来、会議は広島、そしてその姉妹都市らを舞台に開催されてきた。ヴォルガ川の河畔にあるヴォルゴグラードも広島の姉妹都市のひとつとして2005年から会議に参加してきており、2012年に初めて開催地としての役割を引き受けた。

そして2016年、ヴォルゴグラードは再び青少年国際平和未来会議の開催地となり、ここにロシア、フランス、ドイツ、日本、中国、タイと6か国からの青年団体の代表らが集った。会場となっているのはスターリングラード（ヴォルゴグラードの旧称）攻防戦記念博物館。ここには第2次世界大戦の中でも最も多くの血が流された攻防戦の様子を表現したパノラマのほかに、世界によく知られた広島の平和の鐘のレプリカが展示されている。この鐘は1985年、ヴォルゴグラード代表団が広島を訪問した際に広島市の当時の荒木市長から贈られたもの。鐘にはロシア語で「平和の鐘、永遠の友情と平和のしるしに我々広島市がヴォルゴグラードに贈る」と書かれている。

ヴォルゴグラードでの日本代表団の団長を務めるのは井内康輝（いない・こうき）さん。広島大名誉（めいよ）教授（病理学）の井内さんは高校生から20代の社会人まで、「真の国際人」を目指すメンバー12人でつくる、ひろしまインターナショナルクラブでアドバイザー役を務めている。井内さん（64）はスポーツニクからの取材に対し、何よりも大事なものは市民の間に、特に若者たちの間に相互理解を確立することとして、次のように語っている。

「2005年に始まりました、青少年国際平和未来会議。それで広島と、それから広島の姉妹都市を交互に開催地にして、ずっと毎年1回ずつ開いてきました。例えば去年は広島にとっては被爆の70周年だったので、広島で20ヵ国23都市から70人以上の若い人たちが集まりました。今年は海外でやる順番なので、姉妹都市の1つのヴォルゴグラードへ今来ています。それで、ヴォルゴグラードの姉妹都市とか広島の姉妹都市も一緒に集まっています。全部で50人今集まっています。それで何をやるかっていうと、若者が集まって、平和を達成するために何が出来るかって言う話し合いをしてもらおうと思っています。力は政治家のように強くはないけれど、やっぱり若い人たちがお互いに相互理解をすることによって、やっぱり将来の礎ができるだろう

うと思っています。

広島は1945年の8月6日に、人類で始めて原子爆弾が落とされました。一瞬にして14万人の人が亡くなった。大変悲惨な出来事がありました。それに対してヴォルゴグラードは、1942年から43年にかけて、スターリングラードの攻防戦というのがあって、ここでも多くの人々が亡くなりました。町は完全に破壊されました。そういう、第2次世界大戦中に破壊された町同士が手をつないで、世界平和を達成しようというのがこの会議の目的です。」

ヴォルゴグラードのアレクセイ・ヴォロツコフ副市長はスプートニクからのインタビューに、青年フォーラムへの日本人の参加がいかにか重要かについて次のように語っている。

「広島、ヴォルゴグラードといった戦時中に数えきれないほどの人命を失い、不屈の象徴となった都市においては、第2次大戦の歴史から遠く離れた若者世代が単に平和を維持する必要性にとどまらず、平和を守るために戦わねばならないことを意識し始めています。こうしたなかで異なる国の人たちが連帯し、個人的な出会いを経験することが非常に重要です、まさにそれをフォーラムが担っているわけです。」

これと同時にイトゥルプ、クナシルの両島でも「南クリル諸島」という名称の国際青年フォーラムが開かれている。参加者らには環境、観光、郷土史、スポーツの各分野でイベントが用意された。若者らは温泉地や島の自然保護地区への遠足、火山への登山に参加する。組織者サイドが関心を持っているのは自然保護問題に限らない。日本をはじめとする諸国の同年代の若者とどのようにして相互理解が図れるかということだ。8月19日には、クナシリ、シコタンの両島の若者と日本の青年団体との友好交流が予定されている。

日本とのビザなし交流の専門家、ダリヤ・ヴァレーエヴァ氏はスプートニクからの電話インタビューに次のように語っている。

「日本人の訪れを心待ちにしています。明日、19日に到着ですけど、数県からの若者の代表を集めた64人による代表団です。彼らのために様々なプログラムを用意しました。その中で活発な交流や討論を行ってもらいます。討議すべき議題はあるはずですよ。」

<http://sptnkne.ws/bWN4>

日本、イランの自動車市場に意欲

(スプートニク 2016年08月19日 09:27)

◎ 写真: Thomas Jaehnel <http://goo.gl/3NCxG2>

日本貿易振興機構（JETRO）の山本洋一代表は、イランでは車への需要が大きく、イランの自動車市場は非常に有望であると述べた。「イランは長い間車を生産しているが、完成品の輸出入

場になるには至っていない」。ジャパンタイムズが伝えた。

山本氏によれば、イランは国内需要を満たすだけでなく、近隣諸国への販売向けにも車を生産することができる。イランには中東最大の自動車産業がある。自動車は原油に続く第二の歳入源であるという。Tasnim 通信が伝えた。今年の1月には6社の外国自動車メーカーがイランの自動車市場参入への意欲を表明している。

先に伝えられたところによると、9月の初めロシア国内で、日産の最上級クロスオーバー車 Nissan Murano（ムラーノ）の販売が始まる。

<http://sptnkne.ws/bWNt>

中国、日本、韓国の外相会議に向けた準備進む

(スプートニク 2016年08月19日 11:34)

◎ REUTERS/ Lee Jung-hoon <http://goo.gl/Ryd2In>

中国外務省は、中国、日本、韓国外務省の大臣の会議が今後開催されるという情報を確認した。外務省のル・カン報道官は本日、このフォーマットは中国と日本の二国間関係とは何の関係もないと述べた。

政府筋の情報として8月17日に共同通信が伝えたところでは、日本、中国、韓国の外務大臣は8月23-24日に東京で会議を開く予定であるとのことだった。先に、平和条約問題に関する日露会談が再び、8月26日モスクワで開かれると報じられた。

<http://sptnkne.ws/bXnU>

ベネズエラ大統領、クーデターの試みはトルコより強硬に叩くと断言

(スプートニク 2016年08月19日 15:35)

◎ AP Photo/ Ariana Cubillos <http://goo.gl/G4piU6>

ベネズエラのマドゥロ大統領は自国でクーデターの試みが行われた場合、ベネズエラ政府はトルコのエルドアン大統領よりもさらに強硬に対処する構えを明らかにした。スペインの日刊紙「エル・ムンド」が報じた。「トルコで何が起きたか見ただろう？ もし右派が一線を越え、ボリバル主義的革命となったら、エルドアンなど母親の胸から引き離された赤子のように見えたに違いない。」マドゥロ大統領はこのように語った。

6月25日、ベネズエラの野党はマドゥロ大統領の退陣をめぐる国民投票実施のために十分な数の

署名が集まったことを明らかにした。集められた署名数は 200 万。ベネズエラでは経済危機、品不足が市民生活を圧迫しており、抗議行動が盛んにおこなわれている。先に伝えられたところによると、数千のベネズエラ人が食料を求めコロンビアに押し寄せた。

<http://sptnkne.ws/bWQz>

オランダ、対露制裁の解除を目的に EU 離脱の国民投票 Nexit 準備へ

(スプートニク 2016 年 08 月 19 日 23:06)

© AFP 2016/ Dirk Waem <http://goo.gl/E6sMfu>

オランダで第 3 の政治勢力をもつ「自由党」が英国が実施した EU 離脱の是非を問う国民投票の Brexit に類似した国民投票案を準備中。

オランダは EU 離脱が実現した際、ロシアとの関係構築を図り、真っ先に対露制裁を解除する構え。イズベスチャ紙が自由党のヘルト・ウィルダース党首の発言を引用して報じた。

「我々の国の幸福は独自に自分たちで決定を行う可能性に罹っている。ここ数か月に起きたことは、我々が EU の加盟を問う国民投票の問題を早急に解決せねばならないことを示している。ブリュッセルは我々が誰と経済、政治関係を持つべきかを説いてはならない。ロシアとの関係回復は伝統的に常に貿易国であったオランダにとっては最優先的な方向だ。何世紀にもわたり両国は、いかなる紛争があろうとも相互協力から利益のみを得てきた。このためこんにち対露制裁を解除することは我々の幸せな未来のためには欠かせない条件なのだ。経済的にオランダはロシアとの関係、貿易も功を奏し、より強い国となるだろう。」

先に伝えられたところによると、対ロシア制裁で世界は約 600 億ドルの利益を貰い損ねた。

<http://sptnkne.ws/bWQN>

日本、史上最大の国防予算を計上へ

(スプートニク 2016 年 08 月 19 日 21:05)

© AP Photo/ Shizuo Kambayashi <http://goo.gl/tdHKQm>

日本政府は 2017 年度にむけ史上最大の国防（防衛）予算を要求していく方針。2017 年度の国防予算は 2.3% 増の 5 兆 1,000 億円が計上される。日本のマスコミ各社が報じた。国防費の増額要求の理由としては朝鮮民主主義人民共和国のミサイル発射実験が挙げられている。北朝鮮が先日、発射した射程距離 1,000 キロの弾道ミサイルは日本の排他的経済水域に落下している。

ミサイル防衛を強化するとして、1,050億円がパトリオット（PAC-3）ミサイル取得費に充てられている。このほか、新たな国防予算では米国の最新の海上配備型迎撃ミサイル「SM3ブロック2A」の取得費が初めて計上された。このミサイルは最高高度が1,000キロ。早期警報を持つイージス艦への搭載用ではないかとされている。

日経新聞の報道ではミサイル実験は今年秋にもハワイ諸島近海で行われ、来年2017年からは生産が開始。産経新聞によれば日本が開発を望んでいる潜水艦は300キロの射程距離を持つミサイルを搭載するもの。この潜水艦は領土論争における日本の立場を強化することを目的に2023年までに尖閣諸島付近に配備される。日本の2018年までの国防強化中期計画で見込まれている毎年の軍事（防衛）費の伸びは、今回の概算要求よりはるかに低い0.8%となっている。

<http://sptnkne.ws/bWRx>

中国海軍、日本海で演習開始

(スプートニク 2016年08月19日 21:07)

© Sputnik/ Vitaliy Ankov <http://goo.gl/gSb7sV>

中国海軍が日本海で軍事演習を始めた。新華社が軍の情報筋を元に報じた。新華社によると、演習は木曜日18日に始まった。情報筋は、演習はあらかじめ計画されていたものであり毎年行われているものだ。また、国際法に則っていると指摘した。

演習が日本海の具体的にどこで行われたかは公開されていない。演習にはミサイル駆逐艦「西安」、フリゲート「滄州」、補給艦「高郵湖」、そして中国海軍の東方艦隊の艦体数隻が参加した。情報筋はまた、演習地域では外国の偵察機も発見されたという。先に伝えられたところによると、中国は、南シナ海の係争諸島付近で軍事演習を実施した。

<http://sptnkne.ws/bWSs>

ウクライナ人、追放されたヤヌコビッチ元大統領を同国史上最良の大統領と認める

(スプートニク 2016年08月19日 22:52)

© REUTERS/ Sergey Brewers <http://goo.gl/s1Dz7J>

ウクライナ人はビクトル・ヤヌコビッチ元大統領を、独立国家としての25年間で最良の大統領だと考えている。この世論調査は、ウクライナのラジオ局と新聞社「ベスチ」がウクライナ独立25周年に向けて行ったものだ。計画のスタート時点でヤヌコビッチ氏は32%の票を集め、5人の大統領のうちのトップに躍り出て、2位と大きな差をつけた。

第2代同国大統領のレオニード・クチマ氏は20%の票を、現職のペトロ・ポロシェンコ大統領は6%しか集めなかった。さらに、31%の回答者が、1位だった大統領が、ポロシェンコ大統領の代わりに、次の大統領になると答えた。「なぜなら、彼（ポロシェンコ大統領）よりひどいのは誰もいないから」。

投票は非常に活発だった。1日に約30万人は訪れた。投票の結果はウクライナ独立記念日の前日の8月23日に「ベスチ」のサイトで公開される。

先に伝えられたところによると、ウクライナ元大統領は、プーチン大統領を見たいというウクライナ人の希望を語った。

<http://sptnkne.ws/bWTu>

日本政府、移設するはずの普天間基地を補修へ

(スプートニク 2016年08月19日 21:30)

© AP Photo/ Greg Baker <http://goo.gl/WrXCP3>

日本政府は沖縄の普天間米軍基地の補修工事を計画。19日、共同通信が報じた。普天間基地については日本政府は沖縄本島の北部の過疎地域へ移設を約束していた。共同通信の報道では、補修工事は年内にも開始の予定で格納庫や隊員の宿舎がその対象。補修工事計画は基地の即刻閉鎖と土地返還を要求する地元住民及び沖縄県の抗議行動を新たに加熱させる恐れがある。防衛省は、今回の補修工事は将来の基地閉鎖を退けることにはつながらないと説明している。米国は老朽化する基地の使用上の安全を確保するために補修工事を要請している。共同通信の報道では補修工事費は政府予算から出され、数10億円に上るとされている。

<http://sptnkne.ws/bWW2>

メルケル首相、対ロシア制裁撤廃に反対

(スプートニク 2016年08月19日 20:43)

© AFP 2016/ Fredrik von Erichsen <http://goo.gl/arL40X>

ドイツのメルケル首相は、EUはまだ先に導入した対ロシア制裁を解除するべきではない、と述べた。理由はウクライナ危機をめぐるミンスク合意の不履行という。「ヨーロッパは基本的な原則への違反には応答しなければならない。これが将来も制裁が有効であるべき主な理由である」。ドイツのメディアグループレダクツィオン・ネッツヴェルク・ドイツ（RND）のインタビューで述べた。

ミンスク合意が尊重されるようフランスの大統領と一緒に「ウクライナおよびロシアと全力で仕事」しているところだ、と首相は強調した。7月、対ロ制裁を2017年1月31日まで半年延長するEUの決定が発効した。

<http://sptnkne.ws/bWZb>

日本は事実上「ヘリコプターマネー」を使用している

(スプートニク 2016年08月19日 21:45)

© Fotolia/ NorGal <http://goo.gl/uW9eiQ>

日本銀行は繰り返し、いわゆる「ヘリコプターマネー」を使うつもりはない、と述べている。一方の政府は、40年モノの国債の発行を計画しており、日本で国家債務の貨幣化が進行中であることは明らかとなってきた。ロイターが伝えた。

一方の投資家らは、日本銀行に債券を売って目先の利益を得るためだけに国債を購入している。元内閣官房参与で安倍首相の側近である本田悦朗氏によれば、日銀は日本政府の発行する30兆円分の債券を購入している。ある意味では、「ヘリコプターマネー」と同じ効果をもつ行為だという。

一部のエコノミストは、「ヘリコプターマネー」がハイパーインフレと通貨の制御不能な切り下げを誘発する可能性があることを危惧している。先に、日本の消費者物価は、年換算で、一定期間、マイナスまたはゼロとなることが期待されると報じられた。

<http://sptnkne.ws/bXau>

医者、クリントン氏に恐ろしい診断を下す

(スプートニク 2016年08月19日 22:49)

© AFP 2016/ Saul Loeb <http://goo.gl/kHkFgq>

米大統領共和党候補のヒラリー・クリントン氏は幾度も奇妙な振る舞いをキャッチされた。これはおそらく、疲労やストレスに起因するものだろう。しかしマスコミは、ただのストレスだけではないと疑っている。

マスコミはお互いをさえぎりあいながら、クリントン氏の医療データを複製している。フォックスニュースがいわくクリントン氏の病歴からの抜き出しだと言い、次のように報じている。「患者は2012年12月初めに発生した脳震盪の余病をわずらっている、患者には記憶喪失、手に負えない発作、意識の混濁が頻繁になっている」。患者にはすでに「複雑部分発作」の診断が下された。

また、クリントン氏は非常に奇妙な症状でたびたびキャッチされている。共和党を非常に巧みにコピーしていると考えながら、ワンワンと吠えた。ふさわしい場所だったようではあるが、適切である時間よりも物まねを非常に長く続けた。これは全ておそらく疲労やストレスに起因するものだろう。しかし多くの有権者は、このような深刻な診断を下されたクリントン氏が大統領としてやっていけるのかを疑っている。

<http://sptnkne.ws/bXc6>

インタープリテーション・ゲーム：核大国になるため憲法をどう解釈すべきか

(スプートニク 2016年08月20日 06:47 エフゲーニヤ・モイセーエフ)

© Flickr/ International Campaign to Abolish Nuclear Weapons <http://goo.gl/V6970M>

米国では大統領選挙戦が続いているが、また一人の政治家が、ホットな発言をし話題となった。その人物とは、民主党のバイデン現副大統領で、彼は共和党のトランプ候補と討論したさい「核保有国にはなれないという日本の憲法は、われわれが書いたものだということを理解していないのか」と述べた。この発言は、おそらく関心を惹かずにはおかないものだが、17日水曜日、NHKは、この「困った発言」に対し、ワシントンの日本大使館や専門家らによる「バイデン副大統領は正しくない」と一連のコメントを引用し、伝えた。

動画 <https://youtu.be/UiKriJJxqX0>

法律的観点から見て、彼は本当に正しくないのか、そして実際上はどのようなのだろうか？ スプートニク記者は、ロシアの日本学者で歴史家のアナトーリイ・コシキン氏に、インタビューし意見を聞いた。彼は次のように述べている—

「私は個人的に、バイデン氏の発言に何も当惑することなどなかった。日本人達が、そうしたことを耳にするのは不愉快だと感じるのは、また別のことだ。なぜならああした発言は、米国の保護領としての日本の状態を、そこから生み出される数々の結果と共に、改めて強調しているからだ。日本憲法の基本的な条項が、米国の占領行政当局によって書かれたという『秘密』はもう大分前から、あらゆる人に知られている。日本人が今の時期に、そうしたことに言及されたからと言って神経質に反応するのは奇妙である。」

twitter.com/ <https://goo.gl/P1JBtH>

コシキン氏は、日本憲法について核兵器保有を許していると論理的に解釈することに疑いの念を持っており「憲法第9条は、必然的に、核兵器を保有しないことを意味している」として次のように続けた—

「日本は、核兵器のみならず、そもそも軍隊の保有にも関心を持っている。憲法には、明確に、

国民の主権として、日本国民は永久に戦争を放棄すると述べられている。それゆえ、日本には核兵器を保有する権利があるのかといった論議はすべて、憲法の意味や文言を歪めようとする試みである。それは、詭弁やトリックをもって、証明できないものを証明しようとする一例である。」

またスプートニク記者は、アジア太平洋地域における国際関係の専門家で、中央アジアに関するケンブリッジ・フォーラムの研究者であるニコライ・ムラシキン氏にも意見を聞いた。以下、氏の意見を御紹介したい—

「日本の対外・国内政策にとって規範的側面は、伝統的に大変重要だ。政治的レトリックの中では、憲法9条以外に、しばしば言及されるのが、核兵器を持たず、作らず、持ち込ませずと謳った非核三原則だ。これらについて、安倍首相は、広島・長崎の原爆死没者を慰霊する演説の中で触れている。また稲田防衛相も、このポストに任命された日に、これらを引用した。さらに、かなりの影響力を持った政治家達が日本国内で、日本は自前の核戦力を持てるばかりでなく持たねばならないと発言し始めたことを受け、鈴木貴子衆議院議員が出した質問書に対し答えた中で、政府は、非核三原則を持ち出した。しかし実際のところは、この三原則も、かなり以前から侵されていると、多くの専門家らは見ている。運命の皮肉は、戦後70年、日本に完全な非武装化を押し付けた米国人が、今度は、それを決めた条文を骨抜きにしようとする努力をしていることにある。核兵器を国内に持ち込ませずという原則に関していえば、この条項を、米軍は最初から破ってきた。これについては何の秘密もない。核兵器は、大分前から、少なくとも沖縄に存在している。」

日本が核戦力を拡大しているとの情報を、ロシア科学アカデミー極東研究所日本調査センターの責任者であるワレーイ・キスタノフ氏も確認し、スプートニク日本記者に次のように伝えた—

「日本においては、核戦力拡大に向けた作業は、密やかに行われている。例えば、プルトニウムの貯蔵量が増えている。昨年公表された中国のデータを引用して、中国の国連大使は、日本国内には、すでに10.8トンものプルトニウムが貯蔵されており、これは1,350個もの弾頭を生産するのに十分な量だと伝えた。この問題に関しては、米国も一定の懸念を表している。」

twitter.com/ <https://goo.gl/r3Q3k8>

しかし専門家達は、やはり、日本人達は、核大国になる道を選ばないだろうと確信している。キスタノフ氏も、次のように続けた—

「日本にとって固有の核兵器というのは今日、純粋に理論上のものであり、創造の産物だ。現在日本と鋭く対立している中国や韓国を含め、誰もそれを許さないし、誰にとっても必要ないとはっきり言える。ロシアもそうした試みに、ネガティブに接するだろう。米国自身も、そうだ。まして日本が核兵器を持てば、自分達の保護を必要としなくなり、ワシントンの方針に従わなくなってしまうのだからなおさらである。」

そうした中であって、日本人が、米国の大統領選挙キャンペーンで口にされる発言に、ひとつひとつ注意を向けるのは、無駄ではない。どんな法律的詭弁も、そこからの合図なしには、日本政府が、自分達の軍事的政治的戦略の何かを変える助けにはならない。ただバイデン副大統領が、米国人は日本国憲法を書いたばかりでなく、核兵器が日本人に必要かどうか、日本人のために解決しながら、今後憲法を書き換えるつもりだと考えている事は、明白だろう。

twitter.com/ <https://goo.gl/EeKwWz>

<http://sptnkne.ws/bXg9>

中国、アサド大統領の助けに急ぐ

(スプートニク 2016年08月20日 06:37)

© REUTERS/ Damir Sagolj <http://goo.gl/llitu6>

中国はシリアでの国際的な戦争に参加している—シリアのアサド大統領、ロシア、イラン側で。サウスチャイナ・モーニング・ポストが新華社の情報を引用し報道した。中国国防外事公室の関友飛主任がシリアの首都ダマスカスで、同国のファハド・ジャセム・フレイジ国防相と会談した。新華社は次のように報じているが、詳細は確認されていない。

「両国がスタッフの研修プログラムの拡大で合意した。中国軍はシリアに人道支援を提案した。」

アナリストは、中国の状況への関心は中国北西部に住むウイグル人問題によって説明できるとみている。多くのウイグル人はイスラム教を信仰しており、現在シリアで戦っているこの地域からの移民もいる。先に、イランの空軍基地から出撃したロシアの爆撃機がダーイシュ（IS、イスラム国）とヌスラ戦線施設に爆撃するだと報じられた。

<http://sptnkne.ws/bXpx>

脱北事件では最大級、ロンドンから消えた北朝鮮高官が韓国に脱走

(スプートニク 2016年08月20日 10:38)

© REUTERS/ Kim Kyung-Hoon <http://goo.gl/T7Faul>

ロンドンの朝鮮民主主義人民共和国大使館から姿を消していた北緒戦の外交筋高官が韓国に脱走。韓国の役人らがこの情報を確認した。逃亡したへ氏は最も地位の高い外交官で近日中にも妻と子共たちを伴って北朝鮮へ帰国する手はずだった。

在ロンドン北朝鮮大使館は今のところ脱走の事実を認めていないものの、この事実が確認された

場合、ここ数年で起きた脱北事件では最も大きなスキャンダルとなる。

専門家らの間からはこの事件について、北朝鮮にとってはネガティブな結果になりかねないとする意見が挙げられている。王立国際問題研究所のジョン・ニルソン＝ライト氏もこの脱走で英国およびその同盟国側に貴重な情報が引き渡される可能性を指摘している。先に、聯合ニュースは、北朝鮮の朝鮮人民軍偵察総局の大佐が昨年末に韓国へ亡命したと報じた。

<http://sptnkne.ws/bX8E>

日本、史上最大規模の軍事予算：要因は中国以外にも

(スポーツニク 2016年08月20日 11:26 タチヤナ・フロニ)

© AP Photo/ Itsuo Inouye <http://goo.gl/sKjWK1>

日本政府は2017会計年度に史上最大規模の軍事予算を計上する。メディアの報道によると、防衛支出は2017年に2.3%成長し、5.16兆円に達する。日本の防衛費は2013年の安倍首相の政権復帰後、急激に上昇し始めた。

新しい防衛予算は、日本が中国との係争を抱える尖閣諸島周辺での地位を強化するため初めて最大飛行高度数千キロの米国の最新地对空ミサイルを購入することを見込んでいる。また日本は、射程300キロのミサイルを搭載する潜水艦の開発を企んでいる。しかし、ロシアの専門家によると、安倍氏の外交政策は間違いなく中国という要因以外のものとも関係している。軍事予算の増加は安倍政権の政策の論理的なステップであり、容易に予測可能であった。そのことは何よりも、国内における右翼の強化と、政治家としての安倍氏の個人的な要素が顕著に表わされた権威主義的統治に反映している。これは、広範な社会的議論を通じた合意を得ることなく、反対派の意見を無視して、事実上一方的に重要な決定をとるという形で表わされている。スポーツニクのインタビューで日本専門家ドミートリイ・ストレリツォフ氏が述べた。

「これは、戦後の日本の法的規制の重荷からの脱出を目指した、非常に長く、熟慮されたうえでの、安倍氏の方針だ。中には第二次世界大戦の日本の記憶や、その戦争で侵略国の一つであったというコンプレックスにからむ、道徳的性格の重荷もあった。日本政府は、今日の世代の日本人は、何も正当化することなどない、ということを明確な方針とした。そして、日本は多くの国と同様、自らの外交利益を達成するために軍事力に訴えることもできるのだというシグナルを出している。つまり、明らかに、外交における軍事的要素の強化は世界における「真の軍事大国」という日本の新たな役割に関する安倍首相のビジョンに応じた国家戦略の一部なのだ。緊急事態には武力の行使をためらわないような国という役割。しかしこの政策は日本社会に多様な反応を呼び、世論はほぼ半々に分裂している。」

それにもかかわらず、この外交政策は継続する、とストレリツォフ氏は確信している。

「憲法問題では安倍氏はさらに歩を進め、全国民に関わる問題にすと思っておいたほうがいい。すなわち、国民投票まで持ち込むだろう。これを背景に、米国との軍事同盟は、さらに本格的な日本の貢献と、真の同盟国への転換という方向に強化される。しかし、同時に、より米国から独立した日本という要素も増加していく。これは、日本がアジア太平洋地域での軍事力を成長させることに基づき、より自立した政策をとっていくという形で表現される。それは、日本が同盟国であると考えたアジア太平洋諸国と東京の協力において表現される。しかし、基本的にそれは、当然のことながら、対中国を基礎とするだろう。」

しかし、軍事費の増加は、一般大衆に対しては、北朝鮮の弾道ミサイルの脅威に対する防衛力強化に伴う緊急出費であるとの説明がなされている。しかしそれは明らかに誇張である、という。ロシア科学アカデミー極東研究所日本研究センターのワレーリイ・キスタノフ所長は次のように述べた。

「北朝鮮の脅威は米国、韓国、日本によって人為的に膨らませられている。北朝鮮の核ミサイルがこれらの国の利益と国家の安全を脅かすなどと言うのはばかげている。特に米国だ。北朝鮮の核ミサイルは極めて低レベルで、常識的に考えれば、北朝鮮指導部に東京に核攻撃を開始する意味など何もないということはわかる。北朝鮮指導部は愚かな人々ではない。そんなことをすれば現体制の終わり、どこか国家の存在の終了を意味すると、彼らは、十分認識している。」

多くの専門家が、人為的に膨らませられた北朝鮮の脅威は、この口実の下で地域での核戦力を維持し、アジア太平洋地域でワシントンの必要とする政治的・軍事戦略を実行するために、特に米国に必要なものなのだ、と言う点で意見を一致させている。東京はその戦略的な同盟国に追随するのを常とするが、日本の軍事予算の増加は、今日、それが自国の利益にも完全に合致していることを示している。

著者と専門家の意見は必ずしも編集部立場と一致してはいません。

<http://sptnkne.ws/bXuM>

ロシア非常事態省、モスクワの原子炉で爆発があったという報道にコメント

(スプートニク 2016年08月21日 02:48)

© Sputnik/ A. Solomonov <http://goo.gl/k2gDiZ>

ロシア非常事態省は ツイッターで、モスクワ南東部で爆発があったという報道を否定した。放射線レベルは通常通りである、と非常事態省モスクワ総局。

twitter.com/ <https://goo.gl/1SvHy5>

メディアに報道されていた場所に救助隊が駆けつけたが爆発の痕跡は発見されなかった。原子炉はカシールスキー自動車道にあるモスクワ工業物理大学の核研究所に位置している。先に伝えられたところによると、2011年の福島第一原発事故処理を行っていた東京電力の職員が、白血病を診断された。

<http://sptnkne.ws/bXtt>

サウジアラビアを国連人権理事会から排除することを求める動議

(スプートニク 2016年08月21日 03:00)

© AFP 2016/ Carl Court <http://goo.gl/bdg9XU>

英国議会は政府より、サウジアラビアを国連人権理事会から排除することを求める投票の実施を要求している。インディペンデント紙が報じた。その理由としては、サウジアラビアがイエメン空爆を行い、大量処刑や活動家の拘束を行っていることが挙げられている。

英国外務省のブレイク報道官はサウジアラビアにとっての言い逃れを常に探しているとして政府を非難した。英国政府はサウジアラビアが国連人権理事会のメンバーとして再選されることを支持するべきではないという。

ブレイク報道官によると、そうすれば英国は全世界の紛争被害者全員との真の結束を示すことができる。先に伝えられたところによると、テロ組織「アルカイダ」の創設者ビンラディンの息子の1人、ハムザ氏がサウジアラビア転覆をサウジ市民に呼びかけた。

<http://sptnkne.ws/bXtW>

中国で再び軍高官が自殺

(スプートニク 2016年08月21日 03:04)

© AP Photo/ Andy Wong <http://goo.gl/LEmFWG>

中国南部・広東省深セン市で、中国人民解放軍のチェン・ツェー少将(54)が自殺した。サウスチャイナ・モーニング・ポスト紙が、消息筋の情報として報じた。チェン・ツェー氏は政治委員を務め、軍で急速に昇進した人物。同氏は、昇格が発表される前日に自殺した。葬儀は20日に行われる。サウスチャイナ・モーニング・ポスト紙が報じた。

中国の軍高官の自殺は1週間で3人目となった。観測者らはこれらの出来事を中国人民解放軍で実施されている汚職調査と関連付ける傾向にある。チェン・ツェー氏は1997年、香港の主権を中国に移譲することに関連した式典の組織に参加した。先に伝えられたところによると、中国で僧侶を

騙る 600 人以上が僧衣を脱いだ。

<http://sptnkne.ws/bXup>

ゴルバチョフ氏に8月のクーデターを組織した疑い

(スプートニク 2016年08月21日 03:13)

© AFP 2016/ Vitaly Armand <http://goo.gl/y7MoAJ>

ソ連崩壊の引き金となった「1991年8月クーデター」から今日で四半世紀が経過する。ロシアの大手ビジネス紙「ヴズグリャド」が、ソ連における反乱はクーデターの慣行からは奇妙であり、コミカルでさえある、とする論文を掲載。その「犠牲者」とされるゴルバチョフ大統領が直接クーデターを首謀した可能性さえ排除されない、とした。

ちょうど25年前の1991年8月19日、「ゴルバチョフの政策に反対している」ソ連の党高官ら（のち「反乱者」と呼ばれることになる）が、国家非常事態委員会を作り、国家の崩壊を止めるために、国に緊急状態を敷こうとした。しかし、彼らの奇妙な、矛盾した行動は、むしろソ連の崩壊を加速させた。この顛末はあまりにも疑問だらけであり、本当に「反乱勢力」が政権奪取とゴルバチョフ排除を望んでいたのか、ゴルバチョフ氏自身がこの行動を許可したのではないかと疑問視される、と「ヴズグリャド」。

1991年にソ連大統領府長官に就いたワレリー・ボルジン氏によれば、バルト諸国と南コーカサスにおける民族主義と分離独立傾向の活性化に関連して非常事態を敷くという問題は1990年時点で当のゴルバチョフによって提起されていた。その会議に出席していた全員が後で緊急委員会の一員になったと「ヴズグリャド」はいう。

ソ連首相ワレンティン・パヴロフ氏によれば、ゴルバチョフ氏は8月3日、新たな同盟条約に関する作業を終え、拡大版の閣議の議長として演説したが、そこで、各共和国は重要な問題について合意に達することができないことが示された。パヴロフ氏はゴルバチョフ氏の演説を引用している。「緊急措置が必要なら、緊急なのだ。すべての人を強制せよ!」。こう命じたゴルバチョフ氏が、なぜか次の日、
「心安らかにフォロス（クリミア）に休暇に行った」。ソ連崩壊後の彼のスピーチの一つで、ゴルバチョフ氏は、「反乱」計画について事前に知っていたと言った。なぜ、何も手を打たなかったのか? 「反乱勢力」と彼のフレンドリーな会話を考えると、何も手を打ちたくなかったのか? と「ヴズグリャド」。

もちろん、ソ連とロシアはラテンアメリカではないが、我々のところでだってクーデターはそのようには行われぬ、と「ヴズグリャド」は締めくくった。

<http://sptnkne.ws/bX8G>

オランダ、ガソリン車の販売が禁止される可能性あり

(スプートニク 2016年08月21日 03:58)

© Flickr/ Senado Federal <http://goo.gl/Ab3EED>

オランダ政府がガソリン及びディーゼルと言う伝統的な炭化水素燃料で走るすべての車の販売を禁止する法案を審議している。法案はすでにオランダ議会下院で投票を終えている。Quartz が伝えた。オランダ労働党が作成した法案の原案はガソリン及びディーゼル燃料を使うあらゆる車を禁止することを予定していた。法案はのちに軽減され、現在はオランダ議会上院の決定を待っているところ。報道によれば、オランダは現時点ですでに EU で最も新車からの排気ガスのレベルが低い国の一つとなっている。またオランダでは電気自動車の販売が急速に成長している。

今年6月、ノルウェーも、2025年までに炭化水素燃料による自動車の販売を禁止する法案を提出している。当時、電気自動車を開発するテトラモータースのイーロン・マスク社長がこのニュースを絶賛し、ノルウェーは素晴らしい国であると褒め称えた。

twitter.com/ <https://goo.gl/LW32P6>

今年の4月にはドイツ当局もまた複数の大手自動車メーカーとともに電気自動車購入者に対し賞与を与える計画を準備していることが明らかになった。賞与の金額は最高4,000ユーロと言う。先に伝えられたところによると、自動車愛好家イワン・パデリンさんは世界で唯一のソ連のスポーツカー「パペーダースポーツ」をよみがえらせた。

<http://sptnkne.ws/bXvZ>

クリル問題を解決できるのは火星人しかいない？

(スプートニク 2016年08月21日 04:02)

© Sputnik/ Mikhail Klimentyev <http://goo.gl/eW2vP0>

ロシアにとって日本との交渉は難しいことなのだろうか？ロシアと日本が決して合意できないこととは何なのだろうか？東アジア地域における今後の緊張の高まりを回避するのは可能なことなのか？これらについてロシア人日本学者で歴史家、政治学者、そして拓殖大学の教授でもあり、ロシア科学アカデミー東洋学研究所主任研究員のワシーリー・モロジャコフ氏が、新聞「アルグメンティ・ニジューリ」のインタビューで語った。

モロジャコフ氏は、クリル諸島をめぐる争いについて、あまりにも根が深く、込み入っていると考えており、そのため同問題を解決するためには「ラジカル」に行くか、あるいは「どうにもならないか」のどちらかだとの見方を示し、次のように語っている—

「日本が『同意』するのは4島（返還）のみだ。なお大勢の日本人がロシアから4島全てを受け取ることが可能だと確信している。日本の政治家やジャーナリストたちは半世紀以上にわたってそれが可能だと国民を説得してきた。自分たち自らが信じるようにと、懸命に説得してきた。そのため大多数の日本人にとって妥協案は受け入れがたいものなのだ。私は、解決策は3つあると思っている。一つは、ロシアが『係争諸島』を日本へ譲渡するというもの。2つ目は、日本が『係争諸島』に対する領有権の主張を放棄するというもの。3つ目は、火星人がやってきて、この問題を解決するというものだ。だがそれをどうやって行うかは分からない。いずれかを選択するか、それともすべてが現状のまま残るかだ。」

モロジャコフ氏はまた、日本国憲法の改正についても触れた。同氏はこの件に危惧の念を抱いてはいない。モロジャコフ氏は、次のように語っている—

「日本は誰とも戦うつもりはない。これは確かだ。自国の安全保障については、もちろん心配しているが、これはごく自然なことだ。ずいぶん前から憲法を改正する時期が訪れていた。なぜなら日本国憲法の多くの条文が、単に今の現実に対応していないからだ。70年間で日本は変わった。日本を取り巻く世界はなおさらだ。」

モロジャコフ氏は、地政学的状況についても話を続け、ロシアと中国の接近は日本の警戒心を呼び起こしているとの見方を示している。モロジャコフ氏は、ロシアと中国の協力が日本に対して向けられたものである可能性を日本が危惧していると指摘し、「しかし危惧しているのはロシアというよりも中国だ。なぜならまさに中国が地域で積極的な活動を行い、多くの点で反日政策をとっているからだ」と述べた。

モロジャコフ氏は最後に、ロシアと日本のビジネスや政治文化の違いについて語った。モロジャコフ氏によると、交渉プロセスへのアプローチの違いが、両国の平和条約締結交渉がゆっくりとしか進展しない主な原因の一つになっているという。モロジャコフ氏は、次のように語っている—

「日本は今も昔のように『面目を失う』のを恐れている。すなわち公式訪問あるいは重要な話し合いは成功裏に終わらなければならないということだ。もしそうでないのであれば、交渉なしで行う方がいいというものだ。これが安倍首相のロシア公式訪問とプーチン大統領の日本公式訪問が一度ならず延期されている主な理由の一つとなっている。」

<http://sptnkne.ws/bXwB>

金正恩氏の通貨基金統括者、欧州で行方不明に

(スプートニク 2016年08月21日 04:04)

© REUTERS/ KCNA <http://goo.gl/TDpTvv>

北朝鮮指導者金正恩第一書記の通貨基金統括者が多額の現金とともに行方をくらました。金額は

数億ウォン（18万ドル）という。19日韓国の聯合通信が消息筋の情報として The Dong-a Ilbo が報じた内容を伝えた。

与党の第39課（財務担当）の役人が6月に失踪したという。この課は北朝鮮統治者の名で為替オペレーションを行っていた。通貨基金統括者はとともに欧州のある国に20年勤務していた。いずれの国であるかは不明。19日にはソウルでかつてペテルブルグの北朝鮮代表部から行方をくらませたキム・チョルソン外交官が発見されたと伝えられた。

<http://sptnkne.ws/bXwT>

プーチン大統領：ロシアはウクライナとの関係を断とうとはしていない

（スプートニク 2016年08月21日 04:08）

© Sputnik/ Sergey Guneev <http://goo.gl/w1V0Kr>

ロシアのプーチン大統領は19日、安全保障会議の会合で、ウクライナ側がクリミアで破壊工作を試みたことについてコメントし、ロシアはウクライナとの関係を断とうとはしていないと述べた。8月10日、ロシア連邦保安庁は、ウクライナ軍人によるクリミアでのテロと破壊工作を未然に阻止したと伝えた。なお特別作戦の過程で銃撃戦があり、その結果、ロシア国防省の軍人及び連邦保安庁職員の間には死者が出た。なおウクライナ側は、今回の破壊工作への関与を否定している。

プーチン大統領は、「我々のキエフのパートナーたちは状況を悪化せることを決めたようだ。なぜ彼らがそうしたのかは明白だ」と述べ、「これらの行動が我々のパートナーたちの最終的な選択とはならず、健全な考えが打ち勝つことを願っている」と語った。

またプーチン大統領は、「キエフの現当局は大使レベルで完全な外交関係を持つのを望んではいないが、私たちは我々の関係を断とうとはしてはおらず、コンタクトの発展、それをサポートするための可能性をつくってゆく」と述べた。8月20日、ウクライナ内務省のゾリャン・シキリャク参事官は、民主党候補のヒラリー・クリントン氏が次期米大統領に就任した場合、ウクライナは致死性武器を受け取る可能性があるとして発表した。テレビ「112ウクライナ」が報じた。

<http://sptnkne.ws/bXxB>

東方経済フォーラムビジネスプログラム発表（日本語版も）

（スプートニク 2016年08月21日 04:10）

© Sputnik/ Maksim Blinov <http://goo.gl/H1dxGF>

ロシア極東で開かれる第2回東方経済フォーラムのビジネスプログラムでは、57の行事が開かれ

る予定。ロシアのガルシカ極東開発相は、今年の東方経済フォーラムの中心的行事となるのは、ロシアのプーチン大統領と日本の安倍首相、韓国のパク大統領が出席する総会だと伝えた。

東方経済フォーラムの枠内では52のセッションと5つの国家間ビジネス対話（ロシア・中国、露日ビジネスフォーラム、ロシア・韓国、ロシア・ASEAN、ロシア・ドイツ）が行われる。ガルシカ氏によると、フォーラムには32カ国から2,440人が参加することがすでに確認されている。

ガルシカ氏は、「1兆ルーブル（約1兆5,000億円）相当の130以上の協定へ署名する準備が整っている。また我々には、その額が上回ると考えるあらゆる根拠がある」と指摘し、「我々は東方経済フォーラムで投資家たちのための新たな提案を発表したいと思っている。そして我々にとって極めて重要なのは反応だ。私たちは、発展のためにまだ不足しているものについて事業者たちから聞きたい」と語った。プログラムはこちら（日本語版）。<https://goo.gl/razl4S>

今年2016年の東方経済フォーラムは、9月2～3日にルースキー島で開かれる。

<http://sptnkne.ws/bXyh>

フランスのボランティア、難民に残飯を与えることを提案

（スプートニク 2016年08月21日 04:12）

© Sputnik/ Segey Stroitelev <http://goo.gl/nZLpQi>

ボランティアのパトリス・ジュボスク氏が、病院の食堂で出た残飯をパリの街角やカレーとグラドサンタの「ジャングル」にいる難民達に全て与えるのを提案する署名を開始した。スプートニクのインタビューで述べた。

「難民たちは悲惨な状況にいる。我々は飢餓の問題に直面している。水不足は本当に基本的な問題だ。パリに住むことは最悪のキャンプに暮らすことに等しい。」

署名はすでに5万通集まった。パリ国立病院施設局長マルティン・ヒルシュ氏に病院の食堂で出た残飯を配ることを求めるものだ。「私には見て見ぬふりをすることはできない。パリを歩けばカフェテラスで食べる人と、テラスとテラスの間でマットレスに座っている子供を連れた家族を見るだろう。彼らには食べるものがない。こんな世界には生きられない」とジュボスク氏。

先に伝えられたところによると、難民家族には無料で提供された住宅が気に入らなかった家族もいる。彼らはハンガーストライキを始めると脅している。

<http://sptnkne.ws/bXyy>

安倍首相：「核兵器の先制不使用について米国とのやりとりは全くなかった」

(スプートニク 2016年08月21日 04:15)

© REUTERS/ Carlos Barria <http://goo.gl/K311bT>

日本の安倍首相は米オバマ政権が現在検討中という核兵器の先制不使用について懸念を表明したことはなく、その問題にはそもそも言及していないと述べた。首相本人の言葉として共同通信が伝えた。「核の先制不使用についてのやりとりは全くない」と首相。

このような形で安倍首相は、今週米紙ワシントン・ポストで安倍首相が先日のガリー・ハリス米太平洋軍司令官との会談でこの問題に関し個人的な懸念を表明したと報道されたことを否定した。記事はまた、核兵器の先制不使用について、日本のほかに英国、韓国、フランスが懸念を表明しているとしていた。この件については米国政権内で今も議論が行われている。米国のメディアは、オバマ氏は9月、任期中最後となる国連総会での演説の中でこのテーマに触れる可能性がある、としている。

<http://sptnkne.ws/bXzk>

チェルノブイリ原子力発電所元所長：ウクライナを崩壊が待つ

(スプートニク 2016年08月21日 07:06)

© Sputnik/ Nikolay Lazarenko <http://goo.gl/QxBmmm>

ウクライナの原子力発電所で緊急事態の数が増えている。7年後、国のエネルギーシステムが崩壊する恐れがある。元所長ミハイル・ウマネツ氏が述べた。「2015年、ウクライナの原子力発電所で15の違反を記録され、これは前年に比べて1.5倍以上である。2016年の5ヵ月間、既に2015年の同期間に比べて2倍以上である7件の違反がある」という。

7年後、国のエネルギーシステムが崩壊する恐れがある。というのも、ウクライナには原子力発電所の運転の延長にかかる300～500万ドルがない。2017年にもエネルギー供給に問題が出るおそれもある。

「しかし、もし原子炉の寿命が延長しても、稼働停止した原子炉を計画どおり交換し始めないと、やはり原子力、また電力全体の崩壊が待つ。原子力はすでにほとんど存在しない。80%が完全に使い古した設備だ。」

7月21日、ウクライナ議員アンドレイ・アルテメンコ氏は、ウクライナの原子力発電所でチェルノブイリ事故の規模と同程度の事故が発生する可能性があるとして述べた。

先に伝えられたところによると、ロシア非常事態省は ツイッターで、モスクワ南東部で爆発があ

ったという報道を否定した。

<http://sptnkne.ws/bX8u>

ビンラディン関連本著者、米国に 660 万ドルを支払う

(スポーツニク 2016 年 08 月 21 日 10:59)

◦ Flickr/ outtacontext <http://goo.gl/1EfvR6>

米国海軍特殊部隊元隊員でパキスタンでテロネットワーク「アルカイダ」の指導者オサマ・ビン・ラディンを排除する作戦についての本を書いたマット・ビッソネット氏が機密情報の非開示契約違反のため米国に 660 万ドルを支払う。AP 通信が報じた。同氏はビンラディン排除をめぐる米特殊部隊の作戦に関する書籍「大変な一日（ノー・イージー・デイ）」の出版に関して提起された訴訟について米国政府と取引を行った。

マーク・オーエンのペンネームで本を出版するに先立ち著者は米国防総省その他の機関に機密情報に関する検閲を実施させなかった。合意により、著者は 4 年以内に図書の売却から受け取った利益の額に等しい罰金を当局に支払うものとされた。

先に伝えられたところによると、テロ組織「アルカイダ」の創設者ビンラディンの息子の 1 人、ハムザ氏がサウジアラビア転覆をサウジ市民に呼びかけた。

<http://sptnkne.ws/bXAF>

ポーランド選手、病気の子供を助けるため五輪のメダルを売る

(スポーツニク 2016 年 08 月 21 日 11:33)

Vladimir Astapkovish <http://goo.gl/3biV8q>

ポーランドの陸上選手ピョートル・マラホフスキー氏がリオ五輪円盤投げで 2 位となり銀メダルを獲得。ワルシャワに帰るに際し選手は、網膜に悪性腫瘍を患っている子供を助けるため、オークションでメダルを売ると述べた。

「素晴らしい少年の健康は勝利をめざすリオでの私の戦いより大事だ。オークションに参加するよう皆を招待したい。あなたの力で銀が金より貴重になるかもしれない」。フェイスブックに記した。

メダルの売却で 6,600 ユーロを調達する計画。リオ五輪で同選手は 67.55 メートルを投げ、ドイツのクリストフ・ハーティング氏 (68.37) に金を譲った。

先に伝えられたところによると、五輪で金メダルを2度獲得した女子棒高跳びのエレーナ・イシンバエワ氏は19日、リオデジャネイロの特別記者会見で引退を表明した。

<http://sptnkne.ws/bXQ2>

フィンランドに残飯で調理するレストランがオープン

(スプートニク 2016年08月21日 13:05)

© Sputnik/ Ricardo Zedano <http://goo.gl/YyMhRl>

ヘルシンキ（フィンランド）に残飯で調理を行うレストランがオープンした。Yleが伝えた。プロジェクト「フロム・ウェイスト」の組織者によれば、このアプローチにより、気候温暖化と食品廃棄の問題が解決が促進される。レストラン「ループ」は市中心部に近い元病院施設にオープンする。

プロジェクトの代表を務めるヨハナ・コフワッカ氏によると、レストランは食料品店及び卸売店と契約し、廃棄された食品を無償で手に入れられることになった。フィンランドの商店では毎年およそ12から14キログラムの人間向け食品が廃棄されている。

先に伝えられたところによると、英国のレストランで食事をした男性が、レストラン側の手違いでディナーに100万ポンドを支払った。

<http://sptnkne.ws/bXQ3>

イラン当局 ロシアのハマダン空軍基地使用を説明する

(スプートニク 2016年08月21日 14:24)

© AP Photo/ Ebrahim Noroozi 1/2 <http://goo.gl/bIF0JY>

イランのデフガン国防相は、シリア政府の要請に従い、イランのハマダン空軍基地でロシア機の受け入れが行われていると発表した。20日、通信社Tasnimが報じた。

デフガン国防相は、ロシアの爆撃機は「相互協力とテロリストらとの戦いの枠組みで」空軍基地を使用していると指摘した。また国防相は、イランはロシアに他の基地の使用許可を提供する予定はないが、必要な場合には検討すると伝えた。

16日からロシア航空宇宙軍はシリア領内のイスラム主義者らを攻撃するためにハマダン空軍基地から飛び立っている。専門家らは、2本の長い滑走路やその他のインフラを持つハマダン空軍基地は、ロシアが使用するシリア西部のフメイミム空軍基地と比較して、軍用機に対して大きな可能性

を提供していると指摘している。

<http://sptnkne.ws/bXAK>

中国 外国に初の軍事基地建設

(スプートニク 2016年08月22日 02:44)

◦ AP Photo/ Kin Cheung <http://goo.gl/QwrL9o>

中国当局は、アフリカ大陸に、国外で初の軍事支援基地を建設中であることを認めた。基地には、武器や燃料倉庫が置かれるほか、部隊も駐留する見込みだ。Fox News が伝えた。

建設は、ジブチの海岸部にあるアフリカ大陸最大の米国の軍事基地から13キロの場所で始まった。中国の軍事基地の広さは、40万平方メートルで、ここには、武器倉庫、船舶及び航空機用サービス施設などが建設されるほか、海兵隊の限定兵力も置かれる。

中国が、国外にこうした基地を建設するのは、今回が初めて。現在、外国に軍事基地を持つ国のトップは、何と言っても米国である。彼らの基地は、世界42カ国に置かれている。

先に伝えられたところによると、中国南部・広東省深セン市で、中国人民解放軍のチェン・ツェー少将(54)が自殺した。

<http://sptnkne.ws/bXAV>

米国防総省 ロシアがウクライナ侵攻準備との情報について「一角獣のようなもの」と受け止め

(スプートニク 2016年08月22日 02:45)

◦ AFP 2016/ STAFF <http://goo.gl/lnjvZT>

米国防総省のジェフ・デイビス報道官は「ウクライナ侵攻に向けた準備の兆候とみなされるロシア軍部隊の対ウクライナ国境でのクリミア方面への移動は見られない」と述べた。報道官はまた「我々は、近く実施される演習に関連したロシア軍の移動については気づいているが、そこにはウクライナ当局が指摘したような何らかの大規模な兵力の拡大は認められない」と指摘する一方「米国は状況を注意深く見守り続けている」と付け加えた。

なお米国防総省内部では、何らかの大規模で短期的な兵力拡大あるいは部隊の移動が行われるに違いないという考え方について、一部の人達の想像の産物で、そうした「ユニコーン(一角獣)」など見えていないと指摘されている。

先にウクライナのポロシェンコ大統領は、ロシアはウクライナへの全面的な侵攻を準備中だと発言した。

<http://sptnkne.ws/bXBz>

トルコ首相 ロシアがインジルリク空軍基地利用する可能性も考慮

(スプートニク 2016年08月22日 02:47)

© REUTERS/ Umit Bektas <http://goo.gl/I0fMth>

トルコのビナリ・ユルドゥルム首相は、ロシア側はトルコ南部のインジルリク空軍基地使用を要求しなかったが、必要ならば使用される可能性もあると述べた。トルコの公式通信社であるアナドル通信社が報じた。

同首相は、ロシアが基地利用申請をしたかとの質問に次のように答えた—

「この情報は正しくない。しかし、必要な場合はインジルリク空軍基地は利用される可能性がある。」

ユルドゥルム首相はまた、ロシアには同空軍基地を利用する必要性がないだろうと指摘し、次のように述べた。

「インジルリク空軍基地は米国とカタールが利用している。他国が、現在ドイツが活動している空軍基地利用申請をする可能性もある。ロシアについていうと、このような依頼は届いていない。その必要性もないのだと考える。なぜなら、シリアには2つの基地があり、距離の差は100～150キロ以下だ。」

前にイラン政府はロシアによるハマダン空軍基地利用についてコメントした。

<http://sptnkne.ws/bXCT>

トルコ結婚式テロの犠牲者 50 人に（動画）

(スプートニク 2016年08月22日 02:51)

© AFP 2016/ AHMED DEEB 1/4 <http://goo.gl/90fyiW>

トルコ南部のガジアンテプで催された結婚式での爆破テロ事件の犠牲者の数が50人に達し、負傷者は73人となった。トルコ紙「ヒュリエット」が報じた。

動画 <https://youtu.be/MXKT163gTwc>

トルクのシムシェク副首相は、先に「事件を引き起こしたのは、自爆テロ犯だ」と述べている。当局の代表者らは、今回のテロについて、クルド労働者党の戦闘員あるいは「ダーイシュ（I S、イスラム国）」のテロリスト、そのどちらの仕業でもありうる、との見方をとっている。

先に伝えられたところによると、タイの中部のリゾート地、ホアヒンで連続爆破事件が発生した。

<http://sptnkne.ws/bXBU>

フィリピン、国連脱退とけん制

(スプートニク 2016年08月22日 02:53)

© AP Photo/ Radio Television Malacanang <http://goo.gl/5zTTh1>

国連がフィリピンでの麻薬撲滅プログラムの一環の警察による捜査中に起こる殺人が激増していると批判したことを受け、フィリピンのロドリゴ・ドゥテルテ大統領は、フィリピンは国連を脱退する可能性もあると声明した。ロイターが報じた。

ドゥテルテ大統領は、死亡は警察の行動と関係がないと述べ、国連に事件の調査をより綿密にするよう呼びかけた。同大統領は、国連と同国の近しい同盟国である米国含む国連加盟国を批判し、国連は機能を果たしておらず、「犯罪者の骨の山を心配」していると指摘した。

同大統領はテレビ演説で次のように述べた。

「あなたがたを侮辱したくはないのだが、我われはただたんに国連を脱退することになる可能性もある。なぜ我われがこの馬鹿どもの話を聞かなければならないんだ？」

ドゥエルテ大統領は、国連の代替機関を創立し、中国や他国を招待する可能性も口にした。同大統領は、麻薬に依存している人々、そして麻薬を拡散している人への大規模対策に取り組んでいる。

ロイターは、ドゥエルテ大統領の就任時から、麻薬に関係している人 900 人ほどが殺害されたと指摘している。

先に伝えられたところによると、英国議会は政府より、サウジアラビアを国連人権理事会から排除することを求める投票の実施を要求している。

<http://sptnkne.ws/bXDh>

英国沿岸で数トンのコカインを積んだ船が拿捕

(スポーツニク 2016年08月22日 05:30)

© AP Photo/ Fernando Vergara <http://goo.gl/U1BN16>

数トンのコカインが英国沿岸で拿捕された船内で発見された。BBCが報じた。

英国内務省・国境局は木曜日18日トロール漁船「ビヤンカ」をコーンウォールで拿捕した。船内には1トンを超えると見られるコカインの入った袋50個が発見された。末端価格で8,000万ポンドにのぼると見られている

船の持ち主であるマイケル・マクダーモット容疑者含む3人は拘束された。国境局の報道官の1人によると、発見されたコカインは史上最大量の1つだという。

今年3月米国ではコカインを積みすぎて沈みかけた潜水艦が拿捕された。潜水艦には5.5トンのコカインがあったという。

先に伝えられたところによると、米沿岸警備隊がコカインが限界まで荷積された潜水艦を拿捕。艦内のコカイン約6トンが押収された。

<http://sptnkne.ws/bXEd>

世界反ドーピング機関長がロシア選手薬物摂取の証拠提出を拒否

(スポーツニク 2016年08月22日 05:33)

© REUTERS/ Peter Power <http://goo.gl/fKneK0>

世界反ドーピング機関のリチャード・マクラーレン委員長は、ロシア人の違反薬物摂取の証拠を提出するようにとのIOCの要請を拒否した。土曜日20日、IOCのバッハ会長が報じた。

バッハ会長は次のように述べた。

「我われはマクラーレン委員長に、国際陸上連盟にデータが送られる前に（ロシア人のドーピングの）具体的な証拠を受け取りたいと述べた。答えとして、マクラーレン氏はこの情報はIOCにとって緊急もしくは死活問題ではないと考えているので証拠を提出するつもりはないとの返事を受けた。我われはマクラーレン氏とメールでやりとりをした。」

7月18日、世界反ドーピング機関とマクラーレン委員長は、ロシアで政府によって支持されているドーピングプログラムが存在するとの報告書を提出した。しかし、直接的な証拠はなんら引用されなかった。報告のとりまとめとして、世界反ドーピング機関は16年度五輪から全てのロシア選手

の出場資格を停止するよう呼びかけた。

<http://sptnkne.ws/bXEA>

イラン 国産のミサイル防衛システム公開

(スプートニク 2016年08月22日 05:37)

© REUTERS/ President.ir 1/3 <http://goo.gl/lo1H6p>

イランは国産の新型携帯式ミサイル防衛システム「ババル 373」を公開した。日曜日 21 日、「Mehr」が報じた。

「ババル 373」の公開は国防産業の日に同国防軍需省で行われた。公開にはイランのロウハニ大統領も訪れた。

ミサイル防衛システム「ババル 373」は同国の科学研究センターと協力してイラン航空産業組織のイラン人学者と技師によってつくられたという。

「ババル 373」はラジオ局を搭載しており、空気力学的標的や弾道ミサイルを中長距離で探知する。2010年2月イランの専門家は、ロシアのC-300に対抗できるような国産ミサイル防衛システム開発開始を声明した。

土曜日 20 日、イランのホセイン・デフガン国防軍需大臣が、イランはロシアから S-400 ミサイルシステムを大量に買うつもりはないと声明した。また、デフガン大臣が述べるところ、イランはロシアから S-400 ミサイルシステムの主要部を受け取り、1 ヶ月の間他の部分の供給を期待しているという。

先に伝えられたところによると、イランのデフガン国防相は、シリア政府の要請に従い、イランのハマダン空軍基地でロシア機の受け入れが行われていると発表した。

<http://sptnkne.ws/bXEW>

トルコの自爆テロ犯は 12 歳～14 歳だった

(スプートニク 2016年08月22日 05:47)

© AP Photo/ Hatem Moussa <http://goo.gl/KBtvbA>

トルコのエルドアン大統領は日曜日 21 日、トルコ南部の町ガジアンテプで起きた爆発の自爆テロ犯は 12 歳～14 歳だったと述べた。ロイターが地元メディアが報じた声明を引用し報じた。ロイター

はエルドアン大統領の次の声明を掲載した。

「爆発は12歳～14歳の自爆テロ犯によって起こされた。爆弾を起爆したのは自爆テロ犯自身か、他の人物だ。」

エルドアン大統領はまた、爆発の結果51人が死亡し69人が負傷、うち17人が重体だと述べた。以前は死亡者は50人、負傷者は94人と報じられていた。

<http://sptnkne.ws/bXRB>

ウクライナは日本に乳製品輸出を開始する

(スプートニク 2016年08月22日 05:48)

© Sputnik/ Alexandr Kryazhev <http://goo.gl/SxL3Qn>

2017年には日本市場がウクライナの乳製品に開放されると見られている。ウクライナの輸出センター「Export-UA」はフェイスブックのページで次のように述べている。

「2017年秋から日本市場がウクライナ製の乳製品に開放される、つまり乳製品のための検疫措置が取りやめられると見られている。」

日本には乳清と粉ミルク、チーズ、バターが輸出されると見られている。ウクライナ西部で栽培されたとうもろこしが中国市場を失ったことが最近明らかになった。トウモロコシのサンプルの大部分に中国で禁止されている検疫感染症が見つかったのだ。感染症は、ウクライナ西部の数地域で栽培されたサンプルで発見された。現在、他の市場を探す必要がある。さらに、いくつかのサンプルではウクライナで禁止されている病気のリストに入っている病気が発見された。

先に伝えられたところによると、米国防総省のジェフ・デイビス報道官は「ウクライナ侵攻に向けた準備の兆候とみなされるロシア軍部隊の対ウクライナ国境でのクリミア方面への移動は見られない」と述べた。

<http://sptnkne.ws/bXRD>

キエフ中心部にあるサムソンの店のテレビ画面で深夜、ポルノが放映される

(スプートニク 2016年08月22日 05:51)

© AFP 2016/ Jung Yeon-Je <http://goo.gl/9tKzA9>

金曜日19日、ウクライナの首都キエフの中心部のメインストリートであるフレッシュチャーティク通

りに位置するサムスンの店のショーウィンドーにあるテレビで「成人動画」が映された。当時店は閉まっていたが、従業員がショーウィンドーにあるモニター数台を深夜も起動したままにしておいた。「Gazeta.ua」が問題の動画をユーチューブに公開し、報じた。

Gazeta.ua は次のように報じた。

「キエフ人は首都中心部でのポルノに様々な反応を示した。携帯で写真を撮るものや画面を背景に自撮りをするものもいれば、憤慨するものもいた。」

通りかかった人は、ポルノを画面に映すことができたのは、ハッカーの仕業か、それともただ単に夜中にあけっぴろげな動画を放映するテレビ局が選ばれていただけかだろうと想定している。夜中の店の「ホットライン」には、誰も電話に出ず、留守番電話は昼に電話するよう勧めた。そのため通行人は警察に通報した。

警察は到着したが、何もできなかった。なぜなら店は閉まっていたから。そしてポルノは放映を続けた。店のオフィスはこのことに対しコメントを控えているが、ポルノがやはり放送されたことは認め、「今後このようなことがないように」約束した。

<http://sptnkne.ws/bXQh>

ウクライナ 米から核兵器取得願う

(スプートニク 2016年08月22日 09:15)

© AP Photo/ Juan Carlos Llorca <http://goo.gl/Dxn1Y5>

米国がトルコから輸送した核兵器はウクライナ領に配備されなければならない。ティモシェンコ元ウクライナ大統領が所属する政党「全ウクライナ連合「祖国」」に近いキエフの政治学者ビクトル・ネボジェンコ氏が次のように述べた。

「キエフは米国の戦術核兵器を受け入れることもできるだろう。これはロシアの侵略を抑止する効果的な国際メカニズムだ。対ロシア国際制裁よりもはるかに効果的だ。」

ネボジェンコ氏によると、米国の核兵器をウクライナに輸送することは、同国に米国の軍事基地設立を呼ぶという。

先に伝えられたところによると、米国防総省はロシアがウクライナ侵攻準備との情報について「一角獣のようなもの」とコメントした。

<http://sptnkne.ws/bXSx>

英国海軍 予算削減により唯一の修理船を売却

(スプートニク 2016年08月22日 11:10)

© Sputnik/ Igor Zarembo <http://goo.gl/TIUqWJ>

英国防省は、予算削減により、同国海軍所属の唯一の修理船 RFA Diligence を売りに出した。英国の複数のマスコミが伝えた。

twitter.com/ <https://goo.gl/quBhH6>

新聞 The Telegraph は「我々は、修理船 RFA Diligence の使用期限の終了が 2016 年末に移されたことを確認する」との海軍スポークスマンのコメントを引用した。修理船売却の決定は、同船が最近全面改良され、2020 年まで使用期限が延ばされたにもかかわらず下された。改良により、海上での他の船の本体の直接修理も含め、以前に比べて幅広い修理作業が可能になっていた。また修理船は、燃料や電気エネルギー、潜水艦用の酸素を補給する役割もしている。RFA Diligence は、1982 年、英国とアルゼンチンの間に起きたフォークランド紛争の際、使用が開始された。同船は、英国海軍所属の最新技術を搭載した唯一の船舶修理船である。

<http://sptnkne.ws/bXSW>

韓国 艦船6隻に戦術弾道ミサイル配備へ

(スプートニク 2016年08月23日 05:21)

© 写真: The Northern Fleet press service <http://goo.gl/Xq80Yb>

韓国海軍は、北朝鮮からの脅威の可能性に対抗するために、戦術弾道ミサイルを艦船6隻に配備する。聯合ニュースが報じた。弾道ミサイルの射程距離は150~200キロで、必要な場合、韓国軍は北朝鮮領内の目的を破壊することが可能だという。艦船へのミサイル配備は2016年9月にも始まる見込み。先に伝えられたところによると、脱北事件では最大級、ロンドンから消えた北朝鮮高官が韓国に脱走した。

<http://sptnkne.ws/bXTN>

北朝鮮 核先制攻撃を行うとして米国と韓国を脅す

(スプートニク 2016年08月23日 05:24)

© REUTERS/KCNA <http://goo.gl/ZvAK5Y>

北朝鮮は、韓国と米国の合同軍事演習が始まったのを受け、韓国軍と米国軍に核の先制攻撃を行

うと脅した。韓米合同軍事演習「ウルチ・フリーダム・ガーディアン」では、北朝鮮の核およびミサイル施設への攻撃を想定した訓練が行われる。

演習は8月22日から9月初旬まで行われる。北朝鮮は、演習の主な目的について、北朝鮮占領を目的とした北朝鮮への攻撃のリハーサルだと考えている。また北朝鮮は、朝鮮半島情勢はいつ核戦争が始まってもおかしくないほどの緊張レベルに達したとの見方を示している。声明の中では、北朝鮮軍は「戦争と侵略の砦」を破壊し、朝鮮半島南部を解放する時期を待っていると指摘されている。

先に伝えられたところによると、米国は、韓国に海のTHAADシステム作りを計画した。

<http://sptnkne.ws/bXUk>

日本開催5年ぶりとなる日中韓外相会議 延期か？

(スポーツニク 2016年08月23日 05:26)

© AFP 2016/ Toshifumi Kitamura <http://goo.gl/Kcoc6Q>

21日、日中韓高級事務レベル協議が開かれた。出席者たちは、3ヵ国外相会談の日程について合意に達することができなかった。日本の秋葉剛男外務審議官は、「具体的な日程を発表できる段階には至っていない。できるだけ早く発表できるよう努力する」と述べた。共同通信が報じた。

共同通信の消息筋によると、外相会談は当初24日に予定されていた。話し合いでは、国連安全保障理事会の決議に反する北朝鮮の核およびミサイル開発を背景とした日中韓の協力の方向性が主なテーマの一つとなっていると見られている。

<http://sptnkne.ws/bXUD>

イラン ロシアがハマダン空軍基地の使用を一時停止したと伝える

(スポーツニク 2016年08月23日 05:40)

© AP Photo/ WarfareWW <http://goo.gl/EdCcGF>

イラン外務省は、ロシアがハマダン空軍基地の使用を一時停止したと発表した。通信社Tasnimが報じた。なお通信社スポーツニクは、ロシア側の公式コメントを入手していない。先にイランは、必要な限りロシアはハマダンの空軍基地を使用できると発表した。

先週ロシア航空宇宙軍は、ロシアで活動が禁止されているテロ組織「ダーイシュ（IS、イスラム国）や「アル=ヌスラ戦線（ジャブハト・ファタハ・アルシャムに名称変更）」の施設を空爆す

るためにハマダン空軍基地を初めて使用した。

<http://sptnkne.ws/bXVG>

フィリピン 国連の「知識不足」に不満はあるが、脱退はしない

(スポーツニク 2016年08月22日 18:30)

◦ AP Photo/ Bullit Marquez <http://goo.gl/uWS514>

フィリピンのヤサイ外相は22日、同国のドゥテルテ大統領が国連脱退を示唆したことについて、フィリピンは加盟国として国連に残ると述べた。ヤサイ外相は、「我々は、この国際的組織に関連した多くの不満があるものの、国連へ関与していく」と述べた。

国連代表者とフィリピン当局の論争は21日に始まった。専門家たちは、フィリピンの麻薬犯罪対策を批判し、超法規的な処刑を止めるよう呼びかけた。これに対してドゥテルテ大統領は、国連は麻薬犯罪対策に関して十分な知識を持っていないと非難し、国連脱退の可能性を示唆した。

<http://sptnkne.ws/bXXk>

トルコ結婚式爆破テロの犠牲者 54 人に

(スポーツニク 2016年08月22日 21:26)

◦ AFP 2016/ Ahmed Deeb 1/2 <http://goo.gl/BbLFPH>

最新の情報によるとトルコの結婚式中に起きた爆発による犠牲者は54人になった。事件はトルコ社会を揺るがした。トルコ政府は爆破テロ組織を見つけ、罰すると約束した。人々は、負傷者への献血のため列に並んでいる。爆破テロは土曜日20日、トルコ南部の町ガジアンテプで催された結婚式で起きた。テレビ局A Haberが報じるところ、負傷者は69人。トルコのエルドアン大統領は、自爆テロ犯は14歳以下だったと声明した。犯行声明を出したテロ組織は現在のところいない。

<http://sptnkne.ws/bYb3>

米国、F-35 戦闘機を日本に投入へ

(スポーツニク 2016年08月22日 22:00)

◦ AP Photo/ Rick Bowmer <http://goo.gl/GPb6dR>

米軍司令部は2017年日本にロッキード・マーティン社の第5世代ステルス戦闘機F-35 16機を移

送する計画。共同通信が明らかにした。最初の 10 機は 2017 年 1 月、山口県の岩国海兵隊基地へと移送される。残りの 6 機の移送は 8 月に予定されている。F-35 戦闘機は 3 タイプあり、F-35A は米空軍用に開発。技術上もっともシンプルで、軽量で、安価。まさにこの F-35A タイプがパートナー国も含め、これからの大量輸出の基本を占める。

先に伝えられたところによると、米フロリダ州の裁判所は、米国製戦闘機のエンジンを中国に不法に売却しようとしたとして、米国人女性を起訴した。

<http://sptnkne.ws/bYd9>

イラン、テロ対策にロシアへ軍事インフラ提供を続行の構え

(スプートニク 2016 年 08 月 23 日 03:08)

© AP Photo/ WarfareWW <http://goo.gl/jDsLCg>

イランのハマダン空軍基地の利用をロシアが一時停止したとしても、これは国際テロ組織との闘いでイランがロシアとの協力についての立場を変えたことにはならない。インターファックス通信がイランの消息筋からの情報として報じた。

「イランはハマダン空軍基地を使用した作戦がロシアの決定によって一方的に終了した事実を明らかにしただけ。だからといってこれは、イランがロシアを拒絶した、ないしは作戦終了を強要した、または自国の決定を変えたことを意味していない。この計画において一切の変更は生じていない。」

消息筋はこう語ったうえで補足として、「イランはロシアが軍事インフラを使用することを拒否していない。それどころかイランはハマダンのインフラのみならず、他の場所でのインフラをも提供する構えだ」と語っている。これより前、今日、22 日にロシアがイランのハマダン空軍基地の使用を一時停止したことが明らかにされている。

<http://sptnkne.ws/bYe5>

イランの基地を発射したロシア軍機、課題遂行しロシア領へ帰還

(スプートニク 2016 年 08 月 23 日 03:09)

© AP Photo/ WarfareWW <http://goo.gl/Qqi9NQ>

イランのハマダン空軍基地から発射し、シリアの武装戦闘員の拠点に空爆を行ったロシア軍機が課題を成功させ、無事ロシア領内へと帰還。これより先、ロシア航空宇宙軍のハマダン基地の利用は相互の合意に基づき、シリアの情勢如何による。ロシア国防省のイーゴリ・コナシェンコフ公式

報道官が 22 日、明らかにした。

これより前、今日、22 日にロシアがイランのハマダン空軍基地の使用を一時停止したことが明らかにされている。

<http://sptnkne.ws/bYnt>

日本の首相の五輪記録：スーパーマリオ姿の安倍氏

(スポーツニク 2016 年 08 月 22 日 23:15 タチヤナ・フロニ)

© REUTERS/ Stoyan Nenov 1/2 <http://goo.gl/LZl23s>

日本の安倍晋三首相は世界記録を樹立しなかった。しかし、五輪閉会式で突如、コンピュータゲーム「スーパーマリオ」の主人公の衣装で公衆に姿を現し、リオ五輪のセンセーションとなった。

本当のスーパーマリオになるように特設された緑色の土管から首相はスタジアムに出現した。赤いボールを手に、頭の上には「東京」と書かれたトレードマークの赤い帽子があった。次の五輪は 2020 年に東京で開催される。首相はこのような形で象徴的にリオから聖火を引き継いだのだ。SNS ユーザーはこれに好意的に反応。日本の首相のユーモアのセンスを賞賛する人、リオへの出現の仕方を「最高の首相登場」とする人などが見られる。

[twitter.com/ https://goo.gl/G02kpu](https://twitter.com/https://goo.gl/G02kpu)

[twitter.com/ https://goo.gl/bU1ARv](https://twitter.com/https://goo.gl/bU1ARv)

日本の首相はわけもなく観客を驚かせたのではない。マリオは日本人が世界的に有名になるきっかけを作ったイメージのひとつだ。首相の狙いは見事命中した、と日本の専門家ヴィクトル・バヴリャチェンコ氏はスポーツニクに話す。

「政治家として安倍晋三氏は非常に柔軟で、公共生活の多くの問題に注意を払う。スポーツを含めてだ。このような観点から、リオでの観衆への登場は、間違いなく次なる東京五輪のプロモーションには非常に有用かつ有効となる意図的な動きだろう。安倍氏は、観光であれスポーツであれ、国際舞台における日本のイメージを向上させるためには手段を問わないという姿勢を示した。この意味では、リオのマリオ安倍氏は、その方向へのさらなる一歩であり、国際社会全体、特に若者に非常に明確なものであるといえる。これは、国際社会に日本の最高の側面を見せることに国民を動員するはずだ。日本が東京五輪の準備のために 100 パーセントを尽くすことは間違いない。そして、リオ五輪で日本は悪くない結果を出した。ある種のセンセーションさえ起こした。日本の選手を表彰台に拝むことなど誰も思わなかった競技でもメダルを獲得した。それはすでに日本のスポーツの大きな変化と成功について物語っている。かつて中国が自国開催の大会でそうしたように、日本は 2020 年の五輪で最高の結果を示すためにあらゆる

努力をすと思う。」

安倍首相はスポーツ以外のところでも困難な目標を設定し、多くの障害にもかかわらず、それを追求していくことを好む。安倍首相はソチ五輪開会式への出席を計画し、実行した。ワシントンの執拗な反対勧告を押し切った訪問であり、政治家としてのひとつの達成だった、とパヴリャチェンコ氏。

「安倍氏がソチに来たのは五輪のためだけでない。プーチン大統領との個人的な接触の機会を逃さなかったのだ。ソチでの会談は政治家として非常に好適な状況だった。両国間最大の懸案である領土問題の解決に向けて首脳間の信頼を得るために、会談から最高の得点を得ることができた。配当は高額で、安倍氏はそれに賭け、そして勝ったのだ。」

個人的な信頼関係により、プーチン大統領と安倍氏は既に 13 回会っている。2016 年 6 月の会合もソチで開催された。ふたりの会談回数記録は今後も更新される見込みだ。

<http://sptnkne.ws/bYgU>

米韓合同軍事演習始まる 北朝鮮への攻撃想定した訓練も

(スポーツニク 2016 年 08 月 23 日 00:16)

© REUTERS/ Kim Hong-Ji <http://goo.gl/R3edWq>

米韓は大規模軍事演習「ウルチ・フリーダム・ガーディアン」を開始した。演習では朝鮮半島「有事」の場合の北朝鮮施設への核施設やミサイル基地への攻撃を想定した訓練が行われる。韓国聯合ニュースが報じた。

演習には米軍から 2 万 5,000 人、韓国軍から 5 万人が参加した。また、作戦にはオーストラリア、カナダ、コロンビア、オランダ、フランス、イタリア、フィリピン、英国、ニュージーランドの代表が呼び寄せられた。「ウルチ・フリーダム・ガーディアン」は今年 8 月 22 日から 9 月 2 日にかけて行われるが、北朝鮮は激しく反発している。北朝鮮外務省の声明には次のように述べられている。

「米韓の攻撃的な軍事演習が中断されない間は、緊張緩和、平和保証、朝鮮半島そして地域全体の安全保障は考えることすらできない。」

先に伝えられたところによると、北朝鮮は、韓国と米国の合同軍事演習が始まったのを受け、韓国軍と米国軍に核の先制攻撃を行うと脅した。

<http://sptnkne.ws/bYn3>

8月26日モスクワでの露日平和条約締結交渉を日本側が公式的に確認

(スプートニク 2016年08月23日 00:37)

◎ 写真: Host photo agency <http://goo.gl/Smkt4u>

露日平和条約締結問題を話し合う定期交渉が8月26日、モスクワで行われる。日本外務省の川村泰久報道官がリアノーボスチ通信に対して明らかにした。これより前、ロシア外務省内の消息筋からはこの協議にロシア側からはモルグロフ外務次官が、日本側からは原田親仁日ロ関係担当大使が参加することが明らかにされていた。定期交渉は2016年5月にソチで実施された安倍首相とプーチン大統領の対話を底辺に行われる。

<http://sptnkne.ws/bYn4>

独FAZ紙：戦時には食料与えないとドイツ人に声明

(スプートニク 2016年08月23日 06:05)

◎ Flickr/ Frank Haase <http://goo.gl/t1Tlat>

冷戦後初めてドイツ内務省は新たな国防コンセプトを提示した。ドイツのフランクフルター・アルゲマイネ・ツァイトゥング紙が報じた。コンセプトの中で、ドイツ市民には、同国領内への武力攻撃が起こった際に備え、自ら食料と飲料水の備蓄を蓄えておくようにとの指示がなされているという。同紙は次の質問を投げかけている。「もし明日戦争が始まったら、どうする？」

新コンセプトによると、武力攻撃や自然災害の場合、ドイツ市民は自力で食事の面倒を見ることを余儀なくされると、同紙はまとめている。フランクフルター・アルゲマイネ・ツァイトゥング紙が手に入れた書類には、ドイツ市民には「10日間の自らの食糧備蓄を蓄え」、5日間の十分な飲料水を維持するよう指示されている。

<http://sptnkne.ws/bYud>

中国はロシアに対し領土問題に関する取引を持ちかけたがロシアは日本との友情のためにこれを断った

(スプートニク 2016年08月23日 06:27 エフゲーニヤ・モイセーエワ)

◎ AP Photo/ Xinhua, File <http://goo.gl/iz0uue>

ロシア・中国・日本の三角形は近年、アジア太平洋地域の地政学環境における重要なファクターとなっている。この三角形は政治だけでなく経済や安全保障にも及ぶ。その中で今前景化しているのが領土問題である。日本はロシアと中国の協力関係の中に反日という要素を探しがちである。し

かしそのような解釈は現実とは異なっている、とロシアの専門家は確信している。アジア太平洋地域におけるいかなるブロックに参加することもロシアの利益に反する。ロシアには安定したアジアが必要なのだ。

ロシアは長らく原則的な立場をとっている。誰かを敵に回して誰かと手を結ぶのではなく国際情勢のあらゆる対立要素にバランスの取れたアプローチをとるというものである。モスクワ 国立国際関係大学東洋学部長で 歴史学博士のドミートリイ・ストレリツォフ氏はそう語る。この原則は東アジアにも適用される。2015年12月に承認されたロシアの最新版国家安全保障戦略には「ロシア連邦は地域の安定と安全を保障する確実なメカニズムがアジア太平洋地域に構築されることに賛成だ」と記されている。たとえばロシアは、尖閣諸島の問題で中国の側に立つ用意はない、とストレリツォフ氏。

「私の知る限りでは、中国側は繰り返し、ロシアに対し、非公式に契約を持ち掛けてきた。ロシアが日本に対する紛争で中国を支持するかわり、中国はクリル諸島をめぐる紛争でロシアの支持を取る、と。中国は、実際には、今の日本とロシア間の紛争では、日本よりの姿勢だ。しかし、ロシアは中立を原則としているため、これを否定している。」

最近、日本のメディアでしばしば、ロシアを「中国の脅威」抑止のグローバル・システムに引き込むことは悪くない、との日本の専門家の引用が見られる。産経新聞によると、ロシアと日本の関係を強化し友好的な関係を演出すれば台頭する中国の封じ込めに役立つという。5月のG7で安倍首相は、モスクワと北京が東京に対して団結しているという懸念を唯一の理由にロシアとの交渉を開始したいと述べた。しかし、ロシアの国益の観点からは、中日紛争におけるロシアの調停には意味がない、とストレリツォフ氏。

「当事者がすでにかなり立場を固めてしまっている。日本は領土問題は存在しないと主張し、中国は紛争の存在の認識を求めている。このような原則的な立場を歩み寄らせることはいかなる仲介者にも不可能だ。」

ストレリツォフ氏は、ロシアは日米防衛協力の敵ではないと述べた。ロシアは一度として米国とそのアジアのパートナーとの同盟に公式な批判を行っておらず、逆に、国際安全保障システムの不在下のアジア太平洋地域における安定要因として日米同盟を評価している、とロシアの公式見解を述べる専門家。最近では、ロシア側がネガティブな反応を示したのはTHAADの配備問題だ。

「ロシアはこれに反対だ。なぜならこれらのシステムは国際管理の外にあり、一方的にかつ潜在的に地域の力のバランスをどちらかに有利な方へ変更し、国際安全保障への新たな脅威を作りうるからだ」とストレリツォフ氏。

2016年6月に中国の習近平国家主席とロシアのプーチン大統領が署名したグローバルな戦略的安定性に関する共同声明で、両国は強く、THAADの配備に反対していることを思い出してほしい。それは「複数の大国の戦略的な利害を同時に深刻に侵害し、地域の緊張やミサイル拡散の脅威を加速させる」からだ。ロシアは地域における軍事・政治情勢と軍拡競争の国際管理を何よりも望んで

いる。ロシアはアジアの安定と相互安全保障を必要とする、と専門家。

「この用語はもう使用されないが、アジア太平洋地域のための集団安全保障の何等かのシステム、それが今、ロシアが賛成しているものだ。そのため、ロシアはすべての国とでこの分野での対話を行い、このプロセスが多国間の性格を持つことに関心がある。この点において、ロシアはそのような安全システムの仲介者として、唱道者として大きな可能性を秘めている。しかし残念ながら、今、東アジアでは、米国と中国の対立に基づく新たな両極性ができており、このプロセスは不可逆的だ。」

<http://sptnkne.ws/bYuc>

イラクで男児自爆犯が逮捕、トルコの自爆テロからわずか数時間後（動画）

（スプートニク 2016年08月23日 09:28）

© REUTERS/ Alaa Al-Marjani <http://goo.gl/QilBwR>

21日日曜、自爆テロ用のベルトを着用した男児が拘束されたイラクのキルクク市で、その様子を撮影したビデオがネット上に公開された。

動画 <https://youtu.be/2vCfEKaVJcY>

ビデオには自爆の任務を与えられた12～13歳の男児が通りの中央部に立っており、男児が爆破装置に触れないよう、その手を警官らが拘束している様子が映し出されている。その後、爆破装置は安全な場所に移され、起爆された。この男児はトルコのガジアンテプ市の結婚式でテロが行われてからわずか数時間後に拘束されている。トルコのテロ事件の犯行は女児の自爆犯によるもの。これにより51人が死亡、90人以上の負傷者が出ている。

<http://sptnkne.ws/bYuf>

安倍首相はどのような日本を「創生」したいのか？

（スプートニク 2016年08月23日 10:31 リュドミラ・サーキャン）

© Sputnik/ Tadyldy Kadyrbekov <http://goo.gl/wE6aKQ>

日本の現政権の19閣僚のうち13人が2007年に設立され、日本の国外ではあまり知られていない超党派組織「創生「日本」」のメンバーだ。安倍首相もそこに含まれている。その創始者は現与党の有力者だった、2009年に自宅で遺体で発見された中川昭一氏だ。

中川氏は2003年から2006年まで小泉政権で経済産業大臣、2006年から2007年は第一次安倍内閣

で自民党幹事長、2008年の麻生政権では財務大臣に任命され、内閣の最重要人物と目された。中川昭一、麻生太郎、安倍晋三の三人は、憲法改正の必要性を含め、国の将来について共通のビジョンを持っており、非常に近い政治的見解を持っていた。これは、ほぼ完全に、保守的な愛国主義というレシピによって国の改造を目指すプラットフォーム「創生「日本」」と同じだった。

2012年以降更新されていない「創生「日本」」サイトには、今も安倍首相のアピールが乗っている。それはアメリカの占領中に作られた秩序から抜け出し、「未来に向かって日本が「誇りある国」として発展していく為には、戦後レジームからの脱却がなんとしても必要だ」と呼びかけている。

現時点で安倍内閣は、日本が「明るい」未来に向けてどのように進んで行くのかについての明確な答えを出してはいないが、内外の一連のアナリストが、まず行なわれるのはほぼ米国のディクテーションによって書かれた現行憲法の改正だろうと見ている。

極東研究所日本研究センターのヴィクトル・パヴリャチェンコ主任研究員は次のように述べた。

「同組織は日本の国内政治文化の一要素であり、代替的な発展など新しいアイデアの実現のために何らかの問題を議論するためにメンバーが集まる、一種の「同志会」だ。彼らは積極的に若い人たち、党の新しいメンバーを招く。中には戦争の結果の見直し、憲法改正、古き精神の復活などを推進する民族主義グループもいる。何らか特定の目的を達成するために形成される派閥グループもいる。岸田（文雄）氏にも、私の知る限りでは、独自のグループがある。そして、彼は数少ない首相候補の一人だ。安倍氏自身はかつて「創生「日本」」を率い、今は会員4万人に上ろうとする「日本会議」のメンバーである。このような組織は少なくとも6または7知っているし、もしかしたらもっと多い。それらが決定に与える影響の大きさは分かりかねるが、ほとんどの部分は、まだ法案にさえなっていない何らかの新しいアイデアを議論するクラブとしての役割を果たしている。私は「創生「日本」」も同じ種類グループだと思う。」

日本の憲法見直し支持派は、過去70年間で国は劇的に変化し、世界も変わり、新たな挑戦と脅威が出現したことを、自らの立場の根拠としている。防衛力強化を憲法のユニークな平和条項が抑制しているというのである。

著者と専門家の意見は必ずしも編集部の立場と一致してはいません。

<http://sptnkne.ws/bYug>

プラハの中心で極右が偽のテロを模す（動画）

（スプートニク 2016年08月23日 11:33）

◦ Fotolia/ Patryk Michalski <http://goo.gl/6onu6C>

プラハでイスラムを嫌悪する極右市民らが街の中心的な広場でテロを模した抗議行動を展開。独

シュピーゲル紙が報じた。

市民らは伝統的なイスラム教徒の服を着用し、プラハの旧市街へとジープに乗って繰り出すと、銃器を空に向けて発砲する真似をした。組織グループのリーダーはベドウィンに扮装し、広場にラクダに乗って登場。

観光客の中には本物のテロが起きたと勘違いし、恐怖にかられて逃げ出す人も。抗議行動は都心で大パニックが起きることを懸念した警官隊によって取り押さえられた。

先に伝えられたところによると、インドの市民活動家が、15年前に始めたハンガーストライキをやめると発表した。

twitter.com/ <http://goo.gl/py7Tq7>

<http://sptnkne.ws/bY5h>

ロシア最新の偵察機、来年にも初飛行へ

(スプートニク 2016年08月23日 16:51)

© Sputnik/ Evgeny Biyatov <http://goo.gl/D0URop>

ロシアの最新の偵察機 A-100「プレミエール」は来年 2017 年に初飛行を行う。イズベスチヤ紙がロシア国防省内の消息筋からの情報として報じた。

A-100「プレミエール」は実質「空飛ぶ諜報本部」の機能を果たし、敵の軍機、戦艦、通信拠点をすばやく発見し、それに目標指示を行うことができる。

必要な場合、A-100「プレミエール」は護衛機もふくめて防御用の電波障害をつくり出すことができる。A-100の技術性能の詳細は明かされていないものの、空中であれば最高で 600 キロ離れた戦闘機を、また海上であれば最高 400 キロ離れた戦艦を発見できるといわれている。

現段階でこの「空飛ぶ諜報本部」または「空飛ぶレーダー」の製造にはロシア軍産複合体の数 10 社が取り組んでいる。

先に伝えられたところによると、国防省、装備に採用されたロシアのレーザー兵器について説明した。

<http://sptnkne.ws/bYz4>

稲田防衛大臣、中国の活動活発化で米国との協力強化を呼びかけ

(スプートニク 2016年08月23日 17:04)

© AFP 2016/ Jiji Press <http://goo.gl/22721S>

稲田防衛大臣は国境付近での中国の活動が活発化しているとして、米国との協力を強化するよう呼びかけた。稲田防衛大臣は23日、入閣以来初めて横須賀の海上自衛隊基地視察を行い、その中でこうした声明を表した。

稲田防衛大臣は日本の領海、空域の境界区域で中国が活動を活発化させており、現状を変える試みが続いていると発言。こうした状況をうけて、稲田防衛大臣は対米関係の強化の重要性を指摘し、アジア太平洋地域および全世界の平和と安定を維持する上で日本は重要な役割を演じていると付け加えた。

稲田大臣は視察でヘリコプター搭載護衛艦「いずも」の甲板に上がった。このあと、米国原子力空母「ロナルドレーガン」の視察が予定されている。

<http://sptnkne.ws/bYzk>

スポーツ仲裁裁判所（CAS）、ロシアのパラリンピストらのリオ出場権を剥奪

(スプートニク 2016年08月23日 20:10)

© AFP 2016/ YASUYOSHI CHIBA <http://goo.gl/0HyYpG>

スポーツ仲裁裁判所（C S A）はロシアパラリンピック委員会の訴えを却下し、ロシア人選手らの2016年リオパラリンピックへの参加を禁じた。C A Sのサイトが明らかにした。C A Sは国際パラリンピック委員会のフィリップ・クレイヴァン会長の下したロシア・パラリンピック委員会の加盟を一時停止し、パラリンピックへのロシア選手団の参加を禁止するという決定を妥当と認めた。この結果、ロシア人選手団は全員、競技への参加が出来なくなった。リオデジャネイロのパラリンピックは9月7日から18日に行われる。

<http://sptnkne.ws/bY2K>

米国防総省が認める、シリアでロシアとのチャンネルが効果を発揮

(スプートニク 2016年08月23日 20:12)

© Sputnik/ Dmitriy Vinogradov <http://goo.gl/gCVkkg>

米国防総省のピーター・クック公式報道官は、シリアに関して先週、ハサカ地区の状況ではロシアとの通信チャンネルが「効果的に働いた」と語った。

「ダーイシュ（IS、イスラム国）」と戦う米国主導の国際有志連合は特務部隊を援護するため、ハサカ地区に軍用機を差し向けた。軍用機が向かった先はシリア軍が空爆を行なう地区の近くだったが、軍用機が到着したときにはシリア軍のスホイ24機はすでにその場を飛び立っていたため、衝突は起きなかった。

「我々はロシアを通じて自分たちの憂慮を伝えた。このチャンネルは効果的に機能したと考えている。」「（米国は）ISと戦う自国の軍を守る。」クック報道官はこう語っている。これまでの報道によればシリア空軍機はハサカ知己にいるクルド人の拠点を空爆。こうした事態は過去5年で初めて。シリア政府軍司令部はこれについて街を占領しようとする試みに対する報復と説明している。

<http://sptnkne.ws/bY59>

ゴールドマンサックスは、原油生産が凍結されるのはいつかを語る
(スプートニク 2016年08月23日 20:23)

© Flickr/ Carsten ten Brink <http://goo.gl/oP32U6>

米投資銀行ゴールドマンサックスのアナリストは、OPEC加盟諸国と非加盟国は、アルジェリアで9月に開かれる国際エネルギーフォーラムで原油供給凍結の合意に至る可能性があるとして述べた。

アナリストは次のように述べる。

「原油生産分野で衝突している国通しの関係回復は、記録的に高いレベルにある原油生産量を維持しているOPECの原油生産「凍結」よりも、原油の需給バランス回復にとってより緊急性が高くはあるだろう。また、原油生産凍結が今度の原油価格を支えられなければ、凍結はおそらく失敗する運命にある。」

<http://sptnkne.ws/bY5D>

東京五輪のメダルは廃電気・電子製品から作られる

(スプートニク 2016年08月23日 20:38)

© Sputnik/ Aleksandr Utkin <http://goo.gl/oP32U6>

20年度東京五輪組織委員会はメダル作りのための金、銀、銅を変わった鉱源からとることに決めた。日経アジアレビューが報じるところ、これら金属は「都市鉱山」と呼ばれる、スマホや他の電子機器が捨てられている廃棄場から回収される。

東京五輪組織委員会、政府、日本大手企業代表の見積もりでは、すべての必要なメダル製造には、レアメタルを含む電子「廃棄物」は十分すぎるほどだという。たいていは、メダルのためのレアメタルは鉱山企業などから寄付をしてもらっていた。

12年度ロンドン五輪の際のメダルには、9.6キロの金、1,210キロの銀、主に青銅だが700キロの銅が必要だった。また、14年度のデータによると、日本は都市鉱山から143キロの金、1,566キロの銀、1,112トンの銅を掘り出した。日経のデータによると、日本の都市鉱山には世界全体の埋蔵量の16%の金と22%の銀があるという。

先に伝えられたところによると、日本の安倍晋三首相は世界記録を樹立しなかった。しかし、五輪閉会式で突如、コンピュータゲーム「スーパーマリオ」の主人公の衣装で公衆に姿を現し、リオ五輪のセンセーションとなった。

<http://sptnkne.ws/bY5M>

米当局 中国の対外取引史上 記録的な契約を許可

(スプートニク 2016年08月23日 21:03)

© AFP 2016/ FRED DUFOUR <http://goo.gl/myrZ05>

対米外国投資委員会 (CFIUS) は、中国の国営化学企業 ChemChina がスイスのシンジェンタ (Syngenta AG) を吸収する大型契約を承認した。契約額は、430億ドルと見積もられており、これは、中国の外国投資において全く記録的なものとなる。ガゼータ・ルウが伝えた。

契約締結のために中国とスイスの企業は、CFIUS以外に、世界中の反独占規制機関の承認も取り付ける必要がある。

ChemChina 本社の社員は約14万人で、そのうち4万5千人が国外の支社で働いている。一方シンジェンタの社員は2万8千人強で、その視点は世界90カ国に置かれている。

先に伝えられたところによると、シャープは黒字水準までビジネスをより戻し、消費者電化製品としてのブランドへの信頼を回復するため、大規模なリストラに踏み切る。日本の都市鉱山には世界全体の埋蔵量の16%の金と22%の銀があるという。

先に伝えられたところによると、日本の安倍晋三首相は世界記録を樹立しなかった。しかし、五輪閉会式で突如、コンピュータゲーム「スーパーマリオ」の主人公の衣装で公衆に姿を現し、リオ

五輪のセンセーションとなった。

<http://sptnkne.ws/bY8Z>

プーチン大統領、仏オランダ大統領、独メルケル首相が中国開催の G20 サミットの余白に会談へ

(スプートニク 2016 年 08 月 23 日 23:44)

◎ Sputnik/ Sergey Guneev <http://goo.gl/1MW6Mo>

プーチン大統領、ドイツのメルケル首相フランスのオランダ大統領が電話会談で、中国で 9 月 4 日、5 日に開催される G20 サミットで 3 カ国合同会談を行うことで合意した。ロシア政府のプレスサービスが火曜日 23 日報じた。

報道では次のように述べられている。

「3 カ国の首脳はウクライナのトピックについて個人的なコンタクトを継続すること、特に、中国で 9 月 4 日、5 日に開催される G20 サミットの「余白」に合同会談を行うことで合意した。」

先に伝えられたところによると、露日平和条約締結問題を話し合う定期交渉が 8 月 26 日、モスクワで行われる。

<http://sptnkne.ws/bY9U>

パラリンピック選手の除外：政治的動機による不道徳的な歴史

(スプートニク 2016 年 08 月 23 日 22:45)

◎ Sputnik/ Anton Denisov <http://goo.gl/BRzvGP>

ロシアの選手がリオデジャネイロ・パラリンピックに出場許可が下りるよう、ロシア側はスポーツ仲裁裁判所でできること全てをした。しかし、紛争には政治が介入した。プロモーション会社「ミール・ボックス(ボクシングワールド)」のアンドレイ・リャビンスキー代表取締役がそう述べた。

独立国際機関、世界反ドーピング機関 (WADA) のリチャード・マクラレン委員長は 7 月 18 日カナダの町トロントで、ロシアでは国家をあげてのドーピング使用システムが働いていたと声明した。

報告書には、パラリンピック選手のドーピング陽性反応 35 検体が 12 年～15 年にかけて虚偽報告されていたとの情報が載せられた。8 月 7 日、国際パラリンピック委員会 (IPC) のフィリップ・クレイヴン会長が、委員会は全会一致でリオ・パラリンピックからロシアの選手を前面除外し、国

際パラリンピック委員会からロシアを資格停止したと声明した。8月15日ロシアパラリンピック委員会（RPC）はスポーツ仲裁裁判所に提訴したが、8月23日、提訴は却下された。

リャビンスキー氏は次のように述べている。

「全く予想外だ。法的観点から、真実は我われの側にある。弁護士は必要なように全て行った。これは確実に知っている。この問題には政治が介入したことは全く確実だ。もし政治が介入した場合、私はそれに対処する方法がわからないと、提訴却下の前に私は言っていた。この場合は我われはもう何もできないのだ。」

8月には、リャビンスキー氏が弁護士を立て、RPCのスポーツ仲裁裁判所への提訴費用を受け持つことが明らかになった。リャビンスキー氏は次のように述べた。

「弁護士もまたこのような判決に非常に驚いている。この状況には政治的バイアスがかかっている。これは私の意見で、他の人の意見と言うのは単にありえない。もちろん、この出来事は人間的観点からも、他のあらゆる観点からも不道徳的な歴史だ。人々はパラリンピック出場により生き、試合で偉業をなすことを夢見ていた。そもそも彼らの人生全てが、偉業だ。今彼らを除外し、おとしめるのは、完全に人間的ではない。パラリンピックに出場するチャンスはもうない。」

<http://sptnkne.ws/bYNq>

ウクライナ選手「自分のカヌーに爆破されたモスクワを描く計画だった」

(スプートニク 2016年08月24日 00:03)

© Sputnik/ Владимир Песня <http://goo.gl/do3GXp>

リオデジャネイロ五輪男子カヌースプリント・カナディアンシングル 200メートルで金メダルを獲得したウクライナのユーリイ・チェバン選手は「自分のカヌーにモスクワで大爆発するミサイルを描く計画だった」と述べた。

チェバン選手は、米国のラジオ・リバティのインタビューの中で「2014年私は、モスクワで成功裏に大爆発したミサイルが描かれたカヌーを注文した。リオでは、カヌーにもっとたくさんのフラグメントが欲しかったが、うまく行かなかった。だから、剣と杖（先端が球形をしたもので統治者の権標）をもって馬に乗って疾走するコサック達のカヌーが、首尾よくゴールしたのだ」と述べた。

チェバン選手によれば、ウクライナ国民のシンボルは「しっかり自らの足で立ち、反撃する力を持った自由で不従順な人々だ」という。先に伝えられたところによると、リオデジャネイロ五輪カヌー競技のある出場者が、ボートレース用の水路でトレーニング中、沈んでいたソファと激突、カ

ヌーは横転し、水中に投げ出された。

<http://sptnkne.ws/bYNr>

韓国、3人の脱北者を発表

(スプートニク 2016年08月24日 05:24)

© REUTERS/ Kim Kyung-Hoon <http://goo.gl/ij7Ua3>

韓国の沿岸警備隊が8月初旬、朝鮮民主主義人民共和国を脱走した3人を保護。聯合ニュースが報じた。脱北者らが発見されたのは8月7日、仁川港付近。漁船に乗っていた3人は保護されるとすぐに韓国に残留したい希望を表した。漁船は仁川港へと連行され、そこで韓国の特務サービスにより脱走の状況、動機などの取調べが開始された。

北朝鮮からの脱走では先週、ロンドンにいた北朝鮮外務高官の韓国への脱走が明らかにされたばかり。

<http://sptnkne.ws/bYNu>

イラン議会議長「ロシア軍機のハマダン基地使用を禁止してはいない」

(スプートニク 2016年08月24日 06:25)

© Sputnik/ Dmitry Vinogradov <http://goo.gl/sfPJdt>

イラン議会のアリ・ラリジャニ議長は「イランは、国の西部にあるハマダン空軍基地からシリアへ、ロシア軍機が飛び立つことを禁止してはいない」と述べた。イランの複数のマスコミによれば、ラリジャニ議長は「テロとの戦いにおいて、イランはロシアと協力している」と指摘した。ラリジャニ議長は、次のように強調した—

「ロシア軍機の飛行は停止された。ロシアも、また他の国々も、イラン国内に常設の軍事基地を持っていない。ロシア軍機の飛行場利用は、一時的なもので、原則的に給油のためだけに許可されている。それゆえこうした場合、議会の承認は必要ではない。」

先週、ロシア航空宇宙軍の爆撃機は、テログループ「ダーイシュ (I S)」の陣地を空爆するため、初めてイランのハマダン空軍基地を利用した。

<http://sptnkne.ws/bYNv>

米国 対ロシア・ドーピングキャンペーンにより 2024 年夏季五輪開催の可能性危うく

(スポーツニク 2016 年 08 月 24 日 07:18)

© Sputnik/ Igor Zarembo <http://goo.gl/EDzP0h>

2024 年にオリンピックをロサンゼルスで開催するチャンスは、ロシアに対する米国のドーピングキャンペーンにより、危うくなる可能性がある。

ロイター通信の情報によれば、ロシア代表ではない国際オリンピック委員会（I O C）の少なくとも 3 人のメンバーが「ロシアにおける体系的なドーピング問題に関する調査に米国が介入した事が、リオデジャネイロ五輪への期待を暗いものにしてしまった」と見ている。米国の行動は、I O C の組織内に反米気運をもたらし、I O C の今後に影響を投げかけた。

I O C の消息筋は、ロイター通信記者に対し「2024 年の開催地には、ロサンゼルスその他、欧州の 3 都市が立候補しているが、米国は、I O C 内部の数人のメンバーの反米的抗議に直面する危険性がある。I O C の一部のメンバーは、ロシア選手を標的にしたドーピングスキャンダルで非難の先頭に立った米国の役割に激しい怒りを感じている」と伝えた。

<http://sptnkne.ws/bYNw>

日本の新体操 ペテルブルグでの合宿後リオ五輪の決勝へ

(スポーツニク 2016 年 08 月 24 日 08:16)

© REUTERS/ Mike Blake <http://goo.gl/FQ72bt>

リオデジャネイロでの新体操競技で、多くの専門家達は、日本チームの活躍に注目した。16 年ぶりに、決勝進出を決めたからだ。新聞「コムソモーリスカヤ・プラウダ」によれば、日本チームの成績は、ペテルブルグの新体操センター「ジェムチュージナ（真珠）」で訓練を行うようになってからよくなった。

もちろん、チームが最終的にロシアに引越すことはできないが、選手達は年に 5 回から 6 回、合宿のため変わらずサンクトペテルブルグを訪れ、少なくとも年に 3 ヶ月はロシアで過ごしている。選手達は、スポーツセンター付属のホテルに宿泊し、ロシアの専門家達が、日本の選手達をトレーニングしている。そうした努力が、ごらんのとおり、今回の成功につながったのだろう。

2011 年に日本で起きた大震災と津波、そして原発事故により、選手達は、ペテルブルグで引越し合宿をすることになった。当時、新体操のトレーニング基地が、地震で大きな被害を受けてしまったからだ。競技会に向けた準備をストップさせないよう、日本新体操連盟は、選手達をロシアに送るという英断を下したのだった。

先に伝えられたところによると、日本のレスリング選手伊調馨氏はリオ五輪レスリング決勝戦でロシアのワレリア・コプロワ氏から勝利を奪うために天の母が力を与えてくれたと述べた。

<http://sptnkne.ws/bYNy>

2016年夏：地政学的状況が劇的に変化 嵐は訪れるか？

(スプートニク 2016年08月24日 09:23 タチヤナ・フロニ)

© AFP 2016/ Chris J Ratcliffe <http://goo.gl/xx0otC>

今から25年前、ソ連でその運命を決定する出来事が起こった。8月クーデターはソ連の過去にけりをつけ、その後の4ヵ月間はソ連公式解体までの断末魔の苦しみとなった。

超大国は多くの人にとって現実的ではないように思われた。しかしその後の数年間はロシア近現代史の出発点となった。ソ連崩壊から四半世紀の今夏の出来事も、大勢の専門家たちに、長い間それ以外選択の余地はないと考えられていた慣れきった世界秩序からの逸脱という、当時と同じような感覚を残している。なお複数の国にとってはすでに今、方向性や方針の変更が明らかとなっている。雑誌「グローバル政治の中のロシア」の編集長フォードル・ルキヤノフ氏は、スプートニクの対談取材の中でこのような印象を語った。ルキヤノフ氏は、今夏の重要な政治的出来事は、その規模や予測不可能性でひどく驚かせ、文字通り息をつく暇も与えないと述べ、次のように語っている

「一度に様々な出来事がたくさん起こった。その一つは、英国でのEU離脱に関する国民投票だ。米国ではドナルド・トランプ氏が共和党の大統領候補として正式に選ばれた。これは多くの人々にとって衝撃的で前例のない出来事となっている。またトルコでのクーデター未遂もそうだ。そして何より重要なのは、その結果だ。なぜならトルコでの最近の出来事は、アナリストにとってさえもあまりよくわからないプロセスを始動させたからだ。しかし、外国のパートナーたちとの関係に関する自国のシステムでトルコは真剣に方向転換する用意があるという印象がつくられている。特にロシアとだが、それだけではない。主な頭痛の種となっているのは、トルコとNATOの関係がどうなるのか今ははっきりしないというものだ。なお古い関係が続かないのは明白だ。これを背景にシリア（情勢）の明らかなエスカレーションがみられている。加えてウクライナ問題もある。ウクライナでもかつてのミンスクプロセス自体がもう役に立たなくなっている。すなわち、どこを見ても非常に深刻なプロセスだらけだということだ。」

1980年代から90年代の外国での出来事は、根本的な変化として捉えられている。「冷戦時代」に存在していたグローバル・ガバナンスのモデルが見直されることはなかった。ただ互いに均衡をとる2つの超大国ではなく、米国という1国が支柱となった。期待されたのは、対立時に西側社会に役立つ構造を地球全体に拡大させることだった。しかし四半世紀を経過した今、そのような評価を疑問視することができる。最近の出来事は、質的な変化を意味している。現状は変わり、自由主義的グローバリゼーションは終わりに近づいている。ルキヤノフ氏はこのように指摘し、次のように

語っている—

「例えば、EUにとっての英国市民の決定だ。これはもちろん非常に重要なマイルストーンだ。これまでEUは拡大するばかりで縮小したことはなかった。それが突然EUに対する警報シグナルが鳴り出したのだ。しかもこれが最後ではないかもしれない。トルコではクーデターが失敗した。革命ではないとしても、これは非常に深刻な衝撃だ。そしてNATOにとっては、加盟国であるトルコなどが最近あたかもNATOは存在しないかのように振舞っている。そしてこれらの出来事全てが重要な傾向を明確に示している。第二次世界大戦後から今まで世界政治が構築されていた原則や、特に冷戦後のある種の西側中心主義だ。これは少なくとも形を変えつつある。すなわち西側は、どこからみても1991年の後に政治家たちが計画したような形にはならなかったということだ。現在すでに西側が別のものになる可能性が高いことが明らかとなっている。それは意図されたようなものではない。すなわちプロセスはソ連崩壊時に始動されたが、未だに続いているということだ。だがまさに今年、非常に重要なものがたくさん蓄積された。それらは今、再びグローバルな質を持つものへと変わろうとしている。これが2016年夏の主な政治的出来事の結果だ。」

アジア太平洋地域はどうだろうか？ 韓国領内への米国のMD（ミサイル防衛）システム配備が、朝鮮半島情勢を極限まで緊迫させ、今後数年間で今当たり前となっている地政学的状況を変える決定的要因となることはないのだろうか？ ルキヤノフ氏は、次のように語っている—

「私は、韓国のMD自体はあまり重要な要素ではないと考えている。重要なのは何が起こっているかだ。それは米中関係が将来的にエスカレーションする兆候が明らかに蓄積されているということだ。なお当事者たちは誰もエスカレーションを目指してはいない。口先では誰も関係悪化を望んではいない。だが出来事が進展する論理が、エスカレートする可能性へ向かわせている。この方向での深刻な出来事は、中国とフィリピンの領有権争いに関する国際仲裁裁判所の判決だ。裁判所は判決で完全にフィリピン側を支持した。この出来事が今後影響を及ぼすことに間違いない。一方で、中国が今後どのように反応するかはまだ明白ではない。」

ルキヤノフ氏は、すなわちアジア太平洋地域でも非常に重要な出来事が徐々に蓄積されているが、その性質は欧州やトルコで起こっているようなものにはまだ移行していないとの見方を示している。

<http://sptnkne.ws/bYNz>

イラン「シリアにおける米国の計画は破綻した」

(スプートニク 2016年08月24日 10:19)

© Flickr/ The U. S. Army <http://goo.gl/QB22z0>

イラン国家安全保障最高評議会のシャムハーニー書記は、Tasnim 通信記者に対し「米国は、シリアの反政府武装勢力への攻撃から撤退することができなかった」と述べた。シャムハーニー書記は、

次のように伝えた—

「米国と、この地域の彼らの同盟国は、いわゆる穏健派在野勢力という偽りの名を借りて、シリア国民に対し多くの犯罪を行ったテロリストに対する攻撃から、撤退しようと試みた。しかし、こうした『穏健派テロリスト』を救うプランは挫折した。西側やアラブのマスコミでは、ロシア、シリアそしてイランの協力を中傷するキャンペーンが繰り広げられた。それにもかかわらず、ロシアとイラン両政府による共同作業は、成功裏に進んでいる。こうした協力は、両国の国益にかなうものだ。」

8月22日に明らかになったところでは、ロシアは、イランのハマダン空軍基地の利用を一時中止した。

<http://sptnkne.ws/bYN4>

東方経済フォーラムで日中韓へのロシアの電力供給を検討

(スプートニク 2016年08月24日 11:19)

© Sputnik/ Maksim Blinov <http://goo.gl/a7DRWo>

ロシア極東発展省は東方経済フォーラムで日中韓市場への電力供給契約締結の可能性について話し合う意向だ。極東発展省のアレクサンドル・ガルシュカ大臣が報じた。ガルシュカ大臣は22日付の「イズベスチヤ」紙のインタビューで次のように述べた。

「極東には余分な発電量があり、我われは中国にはすでに電力を供給しており、これはお得だ。ロシアエネルギー省は必要な計算を行っており、フォーラム(東方経済フォーラム)では我われはこの技術・経済的基盤を元に契約締結の可能性、収益性、資金源について話し合うことが可能だ。」

6月半ばにガルシュカ極東発展大臣はペテルブルク経済フォーラムで、日本の国際協力銀行、SoftBankなど日露間の「エネルギーリンク」計画に融資する準備が確認された日本のパートナーとの交渉を終えたと声明した。東方経済フォーラムはウラジオストク市で毎年開催される。2016年は9月2～3日に開催される。

中国、日本、韓国、インド、ベトナム、オーストラリア、米国、シンガポールなどの国から代表団が訪れるなど、少なくとも2,400人が参加、国際投資家共同体の連携強化の可能性が討議される計画。

<http://sptnkne.ws/bYN6>

米国 融資と引き換えにウクライナ検事総長の辞職を要求

(スプートニク 2016年08月24日 20:26)

© REUTERS/ Valentyn Ogirenko <http://goo.gl/Ngi9jt>

バイデン米副大統領がウクライナのポロシェンコ大統領に、同国前検事総長を罷免するように要求し、そうでない場合は10億ドルの融資を撤回すると脅したという情報が水曜日24日に現れた。バイデン副大統領自身が米メディアに伝えた。バイデン副大統領によると、少し前にポロシェンコ大統領に次のように述べたと言う。

「ペトロ(ポロシェンコ大統領)、あなたは10億ドルを受け取らないだろう。これはあたりまえだ。あなたは検事総長を置いておくことができる。ただわかってください。我われ(米政府)は、あなた(ウクライナ政府)がそのように行動するならば、支払わない。」

この要求のすぐ後の2016年4月3日、ポロシェンコ大統領は当時の検事総長であったショキン氏を罷免したと、米誌『アトランティック』は指摘した。当時ポロシェンコ大統領はショキン検事総長の罷免の理由を、一連の院内会派がショキン氏の仕事に不満を覚えていたからだと説明した。

先に伝えられたところによると、ウクライナ、クリミアとの国境の部隊の戦闘能力を強化されたものにした。

<http://sptnkne.ws/bYSR>

首都ベルリンはドイツを一層貧乏にしている

(スプートニク 2016年08月24日 20:28)

© AFP 2016/ ODD ANDERSEN 1/2 <http://goo.gl/rcTt7r>

ケルン経済調査研究所の専門家らは、首都がなかったら、国民の所得は、どのくらい減るかについて調べた。

それによれば、フランス人は、パリがなかったら15%貧しくなり、英国人は、ロンドンの財政的援助なしには収入の11%が失われるということだ。こうした傾向は、ワルシャワやブリュッセル、ウィーン、マドリッドでも同様だった。

そうした中で、欧州で唯一、別の見方をされているのはベルリンで、新聞 The Local によれば、もしドイツがベルリンの財政支援なく残っても、ドイツ国民は貧しくならず、あべこべに、ほんの少しだが0.2%豊かになる、とのことだ。

専門家らは、こうした事実について、かつて多くの巨大企業が、本社をより条件の良い地方に移

転させるという事態をもたらした冷戦時代の影響を挙げている。当時ベルリンは、東西に分かれていた。またベルリンの失業率が、ドイツ国内で最も高いうちのひとつであることも、理由として指摘されている。

先に伝えられたところによると、ロシアの首都モスクワが2016年、欧州で最も安い観光地リスト入りした。

<http://sptnkne.ws/bYVu>

沖縄メディアの怒り：警察が記者を反対運動実施地から強制排除

(スプートニク 2016年08月24日 20:41)

◎ REUTERS/ Kyodo <http://goo.gl/F5tKtb>

沖縄県の米軍北部訓練場に建設中のヘリコプター離着陸帯近くで住民が反対運動を起し、その運動取材していた記者2人が機動隊に強制排除された。同県マスコミ労組協議会などは23日、「報道の自由の根幹を侵害する許し難い行為だ」と声明した。佐賀新聞が報じた。労組の声明によると、記者は取材中に機動隊員と車両の間に閉じ込められて取材の機会が奪われたという。声明では次のように述べられている。「報道の自由は憲法の下に保障されている」。先に伝えられたところによると、日本政府は、移設するはずの普天間基地を補修工事を計画した。

<http://sptnkne.ws/bYUu>

中国外相 韓国にTHAAD配備の拒否を呼びかける

(スプートニク 2016年08月24日 18:25)

◎ Sputnik/ Valeriy Melnikov <http://goo.gl/Evxz6D>

中国のワン外相は、韓国のユン外相と会談し、先に韓国と米国が合意した高高度迎撃ミサイルシステム（THAAD）の韓国配備を拒否するよう呼びかけた。共同通信が報じた。声明は、日本で開催の第8回日中韓外相会議に出席するために中韓の両外相が訪れている東京で発表された。ワン外相は会議冒頭、「3カ国の関係では様々な問題が存在しているが、我々は平和ならびに地域の安定に大きな責任を負っている。我々は困難の克服と協力の強化を望んでいる」と述べた。日本の岸田外相は、北朝鮮の弾道ミサイル発射に関連して中国と韓国に協力を呼びかけた。先に伝えられたところによると、日本開催5年ぶりとなる日中韓外相会議が延期された。

<http://sptnkne.ws/bYUq>

紅海で環境災害 200 トン以上の石油が流出

(スプートニク 2016年08月24日 20:50)

© Flickr/ Florida Fish and Wildlife <http://goo.gl/IHV2x7>

紅海での大規模な石油流出により、ヨルダンとサウジアラビアの海岸が汚染される恐れが出ている。またサンゴ礁とイスラエルの保養地エイラートにも被害が与えられる恐れがあるという。紅海には合わせて 200 トン以上の石油が流出した。事故が発生したのは、ヨルダンのアカバ港。なお現在、石油の流出は止まっている。

原因は今のところ不明だが、イスラエルの専門家たちは、破裂した配管からではなく、燃料容器から石油が海に流出したのではないかとの見方を示している。

<http://sptnkne.ws/bYWV>

ニース、イスラム女性信者用水着を脱ぐよう警官らが強制（写真、動画）

(スプートニク 2016年08月24日 23:47)

© AFP 2016/ Anoenk De Groot <http://goo.gl/5BIU8n>

先日、凄惨なテロを経験した仏南部のニースで、海岸でイスラム女性信者用の水着「ブルキニ」を着用していた女性に地元の警官らが水着を脱ぐよう強要。デイリーメール紙が報じた。

twitter.com/ <http://goo.gl/hwun0y>

報道によれば、ニースのイギリス海岸でブルキニを着用していたイスラム女性信者を警官4人が取り囲み、水着を取るよう強制した。ブルキニはイスラム女性信者の間で多く用いられている水着で顔と手足の先しか露出していない。

他の情報では、警察は女性に海岸での服装の規則を説明し、38ユーロの罰金を強要している。ニースではテロ事件の後、一連のコミュニケーションでブルキニの着用が禁じられた。マヌエリ仏首相もこうした禁止令を出した市長らを支持している。

動画 <https://youtu.be/-oFV8AB1zAI>

先に伝えられたところによると、日本の衣料品メーカー「ユニクロ」が、英国でイスラム教徒の女性向けの衣類の販売を開始した。

<http://sptnkne.ws/bYYW>

米誌が指摘、「ロシア経済が復活、中央銀行の策が功」

(スプートニク 2016年08月25日 07:28)

© Sputnik/ <http://goo.gl/Uidc7m>

ロシア経済は苦しい時期を経て回復しはじめた。これにはロシア中央銀行のナビウリナ総裁の行った行動が功を奏した。米ウォールストリートジャーナル紙が報じた。

国際石油価格の急落、西側の制裁発動から2年が経過し、昨日23日MMVBインデックスファンダは新記録を打ちたて、取引終了時には1,989.51ポイントに達した。これにより2016年の初めの時点より25%アップし、23カ国の新興国リストでロシアは6位を占め、米国のMSCI指数とも一致している。

ルーブルの対ドルレートも同じく2016年当初に比べると13%高くなり、新興国の通貨では3位に達した。JPモルガン・チェースの分析ではロシアのルーブル国債も15カ国中3位を占めている。

EPFRグローバルの調べではロシアの国債における国際投資額は13億ドル伸びた。外国投資家の占める割合も7月1日の時点で24.5%に達し、2012年からの統計では最大値となった。

ワサッチ・エマージング・マーケット・スモール・キャップ・ファンド(WAEMX)のエコノミスト、アンドレイ・クトゥーゾフ氏は「ロシア中央銀行の正しい措置のおかげでルーブルおよびマクロ経済政策への信用が回復された」と評している。

投資家の間ではロシア中央銀行のエリヴィラ・ナビウリナ総裁に感嘆する声が多く聞かれる。ナビウリナ総裁は2014年、ルーブルを変動相場制に切り替え、その後資本流出と高インフレ対策として金利を急激に上げる策をとった。

ウォールストリートジャーナル紙は、こうした措置はロシア経済には痛みを伴うものではあったものの、1998年のデフォルトの影が未だにあるロシアへの国際投資家ら信用を徐々に回復させるために功を奏したと評している。

<http://sptnkne.ws/bYZq>

ロ日間の「エネルギーリング」は長期的だが現実的プロジェクト

(スプートニク 2016年08月24日 21:16 タチヤナ・フロニ)

© Fotolia/ peerawat444 <http://goo.gl/595ISV>

東方経済フォーラムでは、ロシア極東からアジア太平洋市場にエネルギーを供給する契約締結の可能性について討議されるだろう。ロシア極東には、余剰発電容量があるため、すでに中国に電力

が供給されているが、これはロ中両国にとって有益だ。アレクサンドル・ガルシカ極東発展相によれば、次の一步となるのは、極東から日本そして韓国への電力の供給だろう。

日本では、電気エネルギーは、欧州や米国よりも高がついている。なぜなら日本には、固有のエネルギー資源がないからだ。そうした理由から日本人は、より安価で有利なバリエーションを絶えず模索している。「その意味で極東からの電気エネルギーの供給は、日本にとってかなり満足のいくものになる可能性がある」—ロシア世界経済国際関係研究所の日本専門家、エレナ・レオーノワ氏は、スプートニク日本のタチヤナ・フロニ記者の取材に対し、そうした見方を示し、次のように続けた—

「ガスと石油は日本へ、タンカーで運ばれている。そのために沿岸部にターミナルが建設され、液化天然ガス用の施設が置かれている。しかし海路による運搬は、欧米にあるような直接両者を結ぶガス及び石油パイプラインに比べ、当然かなり高つく。そのさい、ガスや石油は、日本へ首尾よく無事に運ばれる必要がある。なぜならイランからのタンカーは、インドネシアの島々とインドシナ半島の間の3つの海峡を通過してやってくるからだ。これは大変危険なルートで、そこには海賊が出没する。そのため日本人達は、それに代わる何らかの他の可能性を模索している。日本は、自主的にメタンハイドレートの採掘さえ試みた。これは、北海道や本州などの大陸棚の海底に眠る凍結し凝縮されたメタンだ。日本政府は、この計画に米国の投資家も引き入れようと試みたが、プロジェクト実現には多額の資金が必要なのが分かり、今のところ放っておかれている。それ故ロシアのプロジェクトは、実際のところ、日本にとって極めて将来性があると言える。」

それ以外に、ここ数年ロシア政府は、国の内外の投資家達を支援するシステムを立ち上げた。続いてスプートニク日本記者のインタビューに応じてくれた極東発展機関の分析専門家、ワレーリイ・ドゥブロフスキイ氏は、特にこの点について指摘し、次のように述べた—

「このシステムには、重要な3つの点がある。第一点目は、国家自体が、投資コスト最適化のため、輸送インフラ建設に融資している好ましい条件下での、極東のインフラに対する投資だ。第二点目は、用意のできたエネルギー、輸送インフラ基盤を持つ先進発展地区の創設である。投資家達は、そこへやって来て、自分達の生産を伸ばすことができる。そして第三点目は、極東発展基金の存在だ。この基金は、投資プロジェクトを資金援助する。」

6月半ばに開かれたサンクトペテルブルグ経済フォーラムでは、日本のパートナー、国際協力銀行（J B I C）やSoftBankとの交渉が行われた。これらの銀行は、ロ日間の所謂「エネルギーリング」プロジェクトに融資する心づもりのあることを確認した。しかし、いくつかの情報によれば、日本の法律に変更が求められているという。現在多くのことは、日本側次第だ。その際、プロジェクトが遅れることはないと思える根拠もある。

これについてドゥブロフスキイ氏は、次のように述べている—

「安倍首相がソチを訪れ、プーチン大統領と会見した後、ロ日経済協力において明らかな前進

が生じた。それは、極東とアジア諸国の関係が、現実的かつ活発に発展し始めたことに顕著にみられる。特に最近、大規模なロシアのビジネスミッションがアジア太平洋諸国を訪れたし、特別の注意が日本に払われた。ロシアの企業は、日本を代表する大手企業と一連のプロジェクトについて詳しく話し合った。そこでは、これまで同様、エネルギー産業に、優先的な注意が割かれた。プロジェクトは当然、長期的なものだが、それを非現実的とみなすいかなる根拠もない。問題は経済の中のみにある。プロジェクトの経済的合理性が裏付けられれば、前進に向けた更なる数々の一步を期待できるだろう。」

そうした前進は、何も日本ばかりではなく、日本を経由して、韓国にもつながる可能性が広がっている。

<http://sptnkne.ws/bZa8>

アフガニスタンのカブールにあるアメリカン大学に武装集団が押し入り銃撃戦

(スプートニク 2016年08月25日 02:51)

© AP Photo/ Rahmat Gul <http://goo.gl/hTTaWM>

アフガニスタンの首都カブールのアメリカン大学に武装集団が押し入り、建物内で銃撃戦が始まった。ロイター通信が報じた。

twitter.com/ <http://goo.gl/4DqVaJ>

テレビ TOL0 News によると、武装集団らは建物に侵入する前に爆発を起した。Ariana News が目撃者の情報として伝えたところによると、大学内部にいる人質の多くは学生だという。

最新情報によると、学生と教師およそ 100 人が、占拠された建物から逃げ出すことに成功した。なお大勢の学生や大学職員が、今も校内に残っている。武装集団の襲撃により 1 人が死亡、少なくとも 14 人が負傷した。

<http://sptnkne.ws/bZf7>

シリア 2013 年のダマスカス郊外化学兵器攻撃でフランスを非難

(スプートニク 2016年08月25日 03:11)

© Sputnik/ Andrei Stenin <http://goo.gl/8LYDMN>

2013 年にシリアの首都ダマスカス郊外グータで起こった化学兵器を用いた攻撃は、フランスの諜報機関が組織したものだった。インディペンデント紙が、シリアのジャファリ国連大使の話引用

して伝えた。

政治学者で中東専門家のアドナン・エッセディネ氏は、通信社「スプートニク」に次のようにコメントした—

「グータでの化学兵器攻撃にフランスが関与したとするシリアの大使の発言は、かなり真実に近い。フランスは、アサド政権打倒への関心を隠そうとしていない国の一つだ。グータで起こったことは一般市民に対する本物のジェノサイドだった。もちろんフランスはそれを自らの手ではなく、管理下にあるテロリストらの手で行った。指摘したいのは、最近シリアで再び政府軍に対して化学兵器が用いられたということだ。したがって誰がこの兵器を持ち、使用しているのかは完全に明らかだ。」

シリアでの軍事紛争は2012年から続いており、様々な武装グループに属する暴徒集団が、シリア政府軍に抵抗している。国連のデータによれば、内戦期間中に、22万人以上の人々が亡くなった。

ロシア航空宇宙軍は、昨年9月30日から、テロリストらの陣地に対するピンポイント攻撃を開始した。パイロット達は、テロ集団にかなりの損失を与え、彼らの補給線を絶った。そして3月15日、プーチン大統領は、主要な任務は遂行されたとして、主な部隊のシリアからの引き揚げを指示した。

なおシリア国内では2月27日から、停戦体制が機能している。これについての合意は、ロシア及び米国仲介のもと、政府軍と在野勢力との間で結ばれた。ただ、国連安全保障理事会によりテログループと認定された「ダーイッシュ（IS、イスラム国）などのグループは、休戦の対象とはならない。

<http://sptnkne.ws/bZpR>

なぜ北朝鮮の核実験は、それをめぐるパニックほど恐ろしくないのか？

(スプートニク 2016年08月25日 06:58 エフゲーニヤ・モイセーエフ)

© REUTERS/ KCNA <http://goo.gl/AEmXk8>

8月22日、米国と韓国は、北朝鮮に対する予防攻撃を仕上げ、北朝鮮の領土を占拠する目的で大規模な軍事演習を開始した。これに対し北朝鮮側は、例によって米国と韓国を先制核攻撃すると威嚇した。こうしたシナリオは、どの程度現実的なのだろうか？ 北朝鮮とその隣国との間の核物質蓄積における、実際の潜在的相互関係はどんなものなのだろうか？ 東アジアにおける核パニックは、何によって危険なものとなり得るのだろうか？

まず単に常識から考えて、北朝鮮が自分の敵すべてを核攻撃するなどという事はありません。それに十分な量の核を準備できないだろう。スプートニク日本のインタビューの中で、非政府組織ライフポート・ファンデーションのメンバーで北朝鮮の軍事問題の専門家ウラジーミル・フルスタリ

ヨフ氏は、そう指摘した後、次のように続けた—

「朝鮮民主主義人民共和国、北朝鮮には、兵器用核分裂性物質の2つの源がある。一つは、ヨンビョンの核センターにある25から35メガワットの生産用原子炉で、もうひとつは、2千から4千と、様々にその数が推測される遠心分離機が置かれている濃縮工場だ。おまけに原子炉の作業は一定のサイクルで進んでおり、それは軌道上からの偵察で明らかだ。平均のサイクルは、1年から2年である。そうしたそれぞれのサイクルの後、受け取られた燃料は搬出され、工場で加工される。濃縮ウランの加工には、さらに数週間かかる。しかしその量は、隣の核保有国、中国やロシアが古いストックの形でのみ入手した兵器級物質の量に比べても、微々たるもので、観測誤差のようなものに過ぎない。北朝鮮の主要な敵国である米国の備蓄量と比べても、状況は変わらない。また、すでに保有しており絶えず拡大しつつある韓国や日本の原子炉における『平和目的』のプルトニウムの量と比較しても、その差はやはり何十倍もあり、北朝鮮当局には不利である。」

現在、これままだなかったほどの重い潜在力を持つに至った北朝鮮に対し、隣国達は、同国の核実験にますます厳しく反応している。今年1月6日の核実験後まもなく、韓国セヌリ党のリーダー達は、朴槿恵大統領に、プルトニウムを抽出する目的で核燃料加工の可能性について検討するよう正式に要請した。これは技術的に、完全に行うことが可能だ。韓国最大の新聞「チョソン・イルボ」が公表した分析は、今持っている力を用いれば、韓国は18ヵ月間で核爆弾を製造できることを、極めて詳しい形で物語っている。

自国の核兵器保有を支持する韓国の勢力もまた、米国は東アジアのもう一つの同盟国である日本に、米国から輸入した核燃料を加工し、プルトニウムを入手するのを許可しているのではないかと主張している。権威ある雑誌 The Bulletin of the Atomic Scientists 「原子力科学者会報」のデータによれば、日本は現在、自国領内に約11トンのプルトニウムを持っており、さらに37トンを国外に保管している、とのことだ。同誌の計算では、これは、2千発の核弾頭を製造するのに十分なものである。また同専門誌は、日本が、自分達の核燃料加工工場を青森県の六ヶ所村に稼働させるなら、日本は毎年、核弾頭1500発を準備するのに十分な量のプルトニウムを手にすることができると予測している。なおこれは、現在戦闘準備態勢にある米軍の核兵器の数に匹敵する。

これらの国々が核兵器を製造する潜在力は、北朝鮮などよりはるかに大きい。しかし自国のプルトニウムを兵器級に替えることは、彼らにとってそう簡単ではない。まず米国をはじめとした国際社会が、それを許さないだろう。米国の核の傘の下にあり、完全にその安全が保障された同盟国には、自国の核兵器を保有する段階まで、北朝鮮の行動を心配する理由はないからだ。

北朝鮮の軍事問題に詳しいフルスタリヨフ氏は「北朝鮮は恐らくすでに、核兵器を保有しているだろう。その射程内には、日本も韓国も入っている。しかし北朝鮮は、罰を受けることなく米国の同盟国に、挑発されることもなく核攻撃をすることはできない。米国は、そのシナリオがどんなものでも『同盟国のために』北朝鮮に報復するだろう。米国に先制攻撃をしたり、米国の核戦力を『根絶やしにする』ような能力は北朝鮮にはない」と指摘している。

北朝鮮指導部の誰の頭にも、隣国を核攻撃する考えはない。そんなことをすれば、数分後には、自分達自身が殲滅されてしまう。北朝鮮の核兵器は、現在もやはり、その敵国の核兵器同様に抑止機能を果たしている。しかし自国の原子力プログラムを兵器級のものへ移行させる韓国や日本の可能性が大きくなるならば、そうした軍拡競争が、この地域の状況が変化した場合、一転して全く予測のつかない結果をもたらすこともあり得ると思う。

著者と専門家の意見は必ずしも編集部立場と一致してはいません。

<http://sptnkne.ws/bZpk>

ロシア人選手のパラリンピック出場取消は「非人間的」、ベトナムのコメンテーターが非難

(スポーツニク 2016年08月25日 10:22)

© Sputnik/ Kirill Kallinikov <http://goo.gl/95uQW0>

ロシア選手団は9月7～18日に開催のリオ・パラリンピックへの出場を取り消された。ロシアのスポーツ仲裁裁判所への提訴は却下された。ベトナム人スポーツコメンテーターのダン・ジャマン氏はスポーツニクからのインタビューに次のように語っている。

「まずリオ五輪でのロシア人選手たちの見事な活躍ぶりに心から祝福を送りたい。ロシア選手団は攻撃や心理的なプレッシャーなど困難な条件に加え、人数制限を受けた状況で出場し、それにも負けずに堂々とした結果を出してメダル総数4位を占めた。ロシア人パラリンピストらがパラリンピック出場停止処分を受けたことは間違いなく不公平で非人道的な決定だ。スポーツこそが生きるうえで最も重要な意味をもつ人たち、スポーツなき人生など考えられない人たちを打ちのめしたのだ。これは本当の意味で非人間的な決定だ。」

<http://sptnkne.ws/bZrd>